

西東京市
環境に関するアンケート調査結果報告書

令和 5 年3月

西東京市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 集計表記について	1
II 調査結果概要	2
1. 市民	2
1.1. 地球環境(地球温暖化)に関すること	2
1.2. 生活・自然環境に関すること	3
1.3. ごみの減量化やリサイクル(循環型社会)に関すること	3
1.4. 市民協働に関すること	4
2. 中学生	4
2.1. 環境についての意識・行動に関すること	4
2.2. 環境学習に関すること	4
2.3. 身近な地域の環境に関すること	4
III 調査結果	5
1. 市民	5
1.1. あなたご自身のことについて	5
1.2. 身近な地域の環境について	7
1.3. あなたの日ごろの行動について	13
1.4. 西東京市の環境保全の取組について	26
1.5. 環境保全活動への参加について	27
1.6. 環境用語について	28
1.7. 「地球温暖化対策」に対するあなたのお考えについて	29
1.8. あなたのお住まいについて	34
2. 中学生	38
2.1. あなたのことについて	38
2.2. あなたの環境についての考えや行動について	39
2.3. あなたの環境に関する学習の機会について	40
2.4. 身近な地域の環境について	41
2.5. 環境を守るために思うことについて	44

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、西東京市第3次環境基本計画の策定にあたり、地域における課題を洗い出すとともに、今後の環境施策を推進するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 実施概要

意識調査の概要は、以下のとおりです。

項目		市民		中学生
調査対象		市内に住む18歳以上の市民		市内の中学校 10校*の生徒
調査時期		令和4年11月9日～ 令和4年11月24日		令和4年11月9日～ 令和4年12月5日
配布数		2,000通		1,567通
回収数	紙	601通	759通	1,430通
	Web	158通		—
回答率		38.0%		91.3%

※田無第一・田無第二・田無第三・田無第四・保谷・柳沢・明保・ひばりが丘・青嵐・武蔵野大学中学校

3. 集計表記について

図表に示されている割合は、小数第2位を四捨五入して表記しているため、割合の合計が100%にならないことがあります。

II 調査結果概要

1. 市民

1.1. 地球環境(地球温暖化)に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><「ゼロカーボン」の認知度></p> <ul style="list-style-type: none">・「ゼロカーボン」という近年頻繁に使われるようになった言葉について「よく知っている(意味やどんなことに取り組むかなど)(13.4%)」「詳しくは知らないが、だいたいの意味はわかる(44.0%)」と答えた人の割合の合計が 57.4%を占め、ゼロカーボンに対してある程度の認識がうかがえます(p.28)。
<p><日常生活の中での取組></p> <ul style="list-style-type: none">・「車や自転車のシェアリングサービス(共同利用サービス)を利用している」では「該当しない(45.1%)」又は「取り組むつもりはない(30.7%)」と答えた人の割合が高く、関心が低いことが分かります(p.14、19)。・2022 年は 2018 年と比べて、「冷暖房の使用は設定温度や運転時間に配慮している」で「常に取り組んでいる」「時々取り組んでいる」と答えた人の割合の合計が上回っており、取組が進んでいることがうかがえます。(p.20)。
<p><2050 年脱炭素社会を実現した西東京市のイメージ></p> <ul style="list-style-type: none">・「あなたがイメージする 2050 年脱炭素社会を実現した西東京市について」では「食品ロスの削減や4Rが徹底され、ごみの減量が進んでいる(59.0%)」と答えた人の割合が最も高く、循環型社会、ごみ問題の解決をイメージする人が多いことが分かります(p.29)。・「答えたイメージの西東京市を実現するために、あなたが取り組みたいと思うこと」では「市内農産物を積極的に購入する(地産地消)(54.9%)」と答えた人の割合が最も高く、自らの取組として市内農産物の購入に対する関心が高いことが分かります(p.31)。・「答えたイメージの西東京市を実現するために、市が取り組むべきと思うこと」では「公共施設に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する(56.7%)」「農地を保全し、市内農産物を活用する施策を展開する(55.2%)」と答えた人の割合が高く、市は太陽光パネルの設置と、市内農産物の活用に取り組むべきだと考える人が多いことが分かります(p.32)。・「答えたイメージの西東京市を実現するために、事業者が取り組むべきと思うこと」では「事業所建物に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する(54.8%)」と答えた人の割合が最も高く、事業者は再生可能エネルギー由来の電力の発電に取り組むべきだと考える人が多いことが分かります(p.33)。
<p><環境に配慮した設備の導入意欲></p> <ul style="list-style-type: none">・「蓄電池」「燃料電池」「給湯器」「複層ガラスサッシ、二重窓」「電気自動車、PHEV 車」の設問では「予定はないが補助があれば導入してみたい」「今後導入する予定である」と答えた人の割合の合計が「導入するつもりはない」と答えた人の割合より高く、導入についてある程度の関心がうかがえます(p.34、35、36)。・「給湯器(20.4%)」「複層ガラスサッシ、二重窓(26.7%)」では「すでに導入している」と答えた人の割合が他の設問と比べて高く、普及率が比較的に高いことが分かります(p.36)。・「給湯器」について、「すでに導入している」と答えた人の割合が、2018 年(8.9%)と比べて 2022 年(20.4%)は大きく増えており、普及が進んだことが分かります(p.37)。

1.2. 生活・自然環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><生活環境に対する市民の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちが静かだ」「街路樹、屋敷林、生け垣、公園緑地等の緑が豊かだ」「まちが清潔・きれいだ(ごみの散乱、においなど)」「公共の広場、公園が充実している」、「空気がきれいだ(車の排気ガス、星空の見え方など)」「農地や土と親しみやすい」「野鳥、昆虫、魚等の生きものと親しみやすい」「自然の眺めやまちなみが美しい」「河川・水路等の水がきれいだ(水質、においなど)」では「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合の合計が「そう思わない」「ややそう思わない」と答えた人の割合の合計より高く、良好な環境であると捉えている人が多いことがうかがえます(p.7、8、9、10、11)。 ・「水や水辺と親しみやすい(河川や湧水など)」「環境の状況や施策に関する市からの情報を目にする機会がある」では「そう思わない」「ややそう思わない」と答えた人の割合の合計が「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合の合計より高く、環境及び状況に満足していない人が多いことがうかがえます(p.8、10、11)。 ・2022年は2018年と比べて、全ての設問で「ややそう思う」「そう思う」と答えた人の割合の合計が増え、「空気がきれいだ」以外で「そう思わない」「ややそう思わない」と答えた人の割合の合計が減っており(※「まちが清潔・きれいだ」「環境の状況や施策に関する市から情報を目にする機会がある」は同率)、全体的には満足度が高まっていることが分かります(p.12)。
<p><日常生活の中での取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年は2018年と比べて、「公園や緑地、水辺などで自然にふれあう」「水道を使う際には、節水を心がけている」で、「常に取り組んでいる」「時々取り組んでいる」と答えた人の割合の合計が上回っており、取組が進んでいることがうかがえます(p.20)。 ・2022年は2018年と比べて、「皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている」で、「常に取り組んでいる」「時々取り組んでいる」と答えた人の割合の合計が大きく下回っており、取組を推進していく必要があることがうかがえます(p.20)。
<p><市に優先して進めてほしい取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みどりの保全・生物多様性」では「公園、学校、公共施設、道路の街路樹のみどりを増やす取組(67.1%)」と答えた人の割合が最も高く、市に公共施設等でのみどりを増やすことに優先して取り組んでほしいと考えている人が多いことが分かります(p.26)。 ・「安心・安全な生活環境の確保について」では「幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備を行い、安全・安心な交通環境を確保する(68.4%)」と答えた人の割合が最も高く、市に安全・安心な交通環境の確保に優先して取り組んでほしいと考えている人が多いことが分かります(p.27)。

1.3. ごみの減量化やリサイクル(循環型社会)に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><日常生活の中での取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年は2018年と比べて、「マイボトル、マイバッグを活用している」「生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化している」で、「常に取り組んでいる」「時々取り組んでいる」と答えた人の割合の合計が上回っており、取組が進んでいることがうかがえます(p.20)。 <p><市に優先して進めてほしい取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資源の有効活用、ごみの削減」では「不用品については、フリーマーケット、リサイクルショップの活用等による再利用、資源回収等による資源化を進める(68.8%)」と答えた人の割合が最も高く、市に不用品の再利用や資源化に優先して取り組んでほしいと考える人が多いことが分かります(p.26)。

1.4. 市民協働に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<市に優先して進めてほしい取組> ・「環境意識、協働の仕組みづくり」で「市内の環境の現状や様々な環境問題について、情報を発信する(50.7%)」と答えた人の割合が最も高く、市に環境問題についての情報発信に優先して取り組んでほしいと考える人が多いことが分かります(p.27)。
<環境保全活動への参加> ・環境保全活動への参加について「参加したことがある」と答えた人の割合が 8.6%であり、参加したことがある人が少ないことが分かります(p.27)。

2. 中学生

2.1. 環境についての意識・行動に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<環境問題に対する意識> ・「環境問題について興味がありますか」では、「とても興味がある(12.0%)」「少し興味がある(51.4%)」の割合の合計が「あまり興味がない(28.2%)」「全く興味がない(8.0%)」と答えた人の割合の合計より高く、環境問題に対する興味があることがうかがえます(p.39)。 ・「地球温暖化を止めるために取り組むことについてどうお考えですか。」では、「ぜひ取り組みたい(15.8%)」「普段の生活が今より不自由にならないくらいで取り組みたい(75.1%)」と答えた人の割合の合計が 90.9%であり、地球温暖化に対する問題意識は高いことがうかがえます(p.39)。 <環境に関連する活動> ・「環境を守るために、どのような活動に参加してみたいと思いますか」では、「リサイクル活動(35.9%)」「省エネルギーの活動(36.6%)」と答えた人の割合が高く、日常的に継続して参加できる活動に興味があることがうかがえます(p.39)。

2.2. 環境学習に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<環境学習の回数> ・「今まで、小学校や中学校での環境について学習する回数をどう思いますか」では、「足りない(8.9%)」「少し足りない(63.6%)」と答えた人の割合の合計が 72.5%であり、環境学習の機会について満足していないことが分かります(p.40)。 <興味のある環境学習テーマ> ・「環境についてのテーマで、興味があるのはどんな内容ですか」では、「地球温暖化について(54.9%)」「生き物について(58.7%)」と答えた人の割合が高く、地球温暖化と生き物についての学習に対する関心が高いことが分かります(p.40)。

2.3. 身近な地域の環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<身近な地域の環境についての考え> ・「まちが清潔・きれいだ(ごみのポイ捨てなど)」では他の設問と比べて「そう思わない(12.3%)」「ややそう思わない(26.2%)」と答えた人の割合の合計が高く、満足度が低いことが分かります(P42、44)。 ・「街路樹、屋敷林、公園、農地などの緑が豊かだ」では他の設問と比べて「そう思う(33.1%)」「ややそう思う(35.5%)」の割合の合計が 68.6%であり、満足度が高いことが分かります(p.43、44)。

Ⅲ 調査結果

1. 市民

1.1. あなたご自身のことについて

(1) あなたの性別はどれにあたりますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 男性	312	41.1%
② 女性	441	58.1%
③ その他	0	0.0%
④ 答えたくない	5	0.7%
無回答	1	0.1%
合計	759	100.0%

(2) あなたはどの年齢層に該当しますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 18～20歳代	59	7.8%
② 30歳代	108	14.2%
③ 40歳代	141	18.6%
④ 50歳代	146	19.2%
⑤ 60歳代	109	14.4%
⑥ 70歳代	113	14.9%
⑦ 80歳代以上	83	10.9%
無回答	0	0.0%
合計	759	100.0%

(3) あなたはどの職業に該当しますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 自営業・専業主・農林業・商工業	55	7.2%
② 会社員・公務員・団体職員	299	39.4%
③ パート・アルバイト	120	15.8%
④ 専業主婦・主夫	118	15.5%
⑤ 学生	24	3.2%
⑥ 無職	118	15.5%
⑦ その他	22	2.9%
無回答	3	0.4%
合計	759	100.0%

(4)あなたはどの地域にお住まいですか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 田無町	45	5.9%
② 南町	38	5.0%
③ 西原町	22	2.9%
④ 緑町	8	1.1%
⑤ 谷戸町	68	9.0%
⑥ 北原町	13	1.7%
⑦ 向台町	52	6.9%
⑧ 芝久保町	71	9.4%
⑨ 新町	37	4.9%
⑩ 柳沢	56	7.4%
⑪ 東伏見	18	2.4%
⑫ 保谷町	47	6.2%
⑬ 富士町	47	6.2%
⑭ 中町	27	3.6%
⑮ 東町	30	4.0%
⑯ 泉町	39	5.1%
⑰ 住吉町	29	3.8%
⑱ ひばりが丘	42	5.5%
⑲ ひばりが丘北	14	1.8%
⑳ 栄町	10	1.3%
㉑ 北町	19	2.5%
㉒ 下保谷	27	3.6%
無回答	0	0.0%
合計	759	100.0%

(5)あなたの居住年数は次のどれにあたりますか。(旧田無市と旧保谷市も含めて)(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 3年未満	110	14.5%
② 3年以上5年未満	78	10.3%
③ 5年以上10年未満	99	13.0%
④ 10年以上20年未満	183	24.1%
⑤ 20年以上30年未満	98	12.9%
⑥ 30年以上	191	25.2%
無回答	0	0.0%
合計	759	100.0%

(6)あなたの世帯構成は次のどれにあたりますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 単身(ひとり暮らし)	98	12.9%
② 夫婦のみ	206	27.1%
③ 親・子(二世帯)	410	54.0%
④ 親・子・孫(三世帯)	22	2.9%
⑤ その他	17	2.2%
無回答	6	0.8%
合計	759	100.0%

1.2. 身近な地域の環境について

あなたがお住まいの(1.(4)でご回答いただいた)地域の環境について、あなたのお考えに最も近いものを0~5の中から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

① 空気がきれいだ(車の排気ガス、星空の見え方など)

選択肢	回答者数	割合(%)
⑥ わからない	7	0.9%
① そう思わない	79	10.4%
② ややそう思わない	90	11.9%
③ どちらともいえない	207	27.3%
④ ややそう思う	274	36.1%
⑤ そう思う	99	13.0%
無回答	3	0.4%
合計	759	100.0%

「④ややそう思う」が36.1%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が27.3%となっています。

② まちが静かだ

選択肢	回答者数	割合(%)
⑥ わからない	2	0.3%
① そう思わない	48	6.3%
② ややそう思わない	62	8.2%
③ どちらともいえない	136	17.9%
④ ややそう思う	346	45.6%
⑤ そう思う	163	21.5%
無回答	2	0.3%
合計	759	100.0%

「④ややそう思う」が45.6%と最も高く、次いで「⑤そう思う」が21.5%となっています。

③ まちが清潔・きれいだ(ごみの散乱、においなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	3	0.4%
② そう思わない	33	4.3%
③ ややそう思わない	60	7.9%
④ どちらともいえない	160	21.1%
⑤ ややそう思う	343	45.2%
⑥ そう思う	151	19.9%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「④ややそう思う」が45.2%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が21.1%となっています。

④ 河川・水路等の水がきれいだ(水質、においなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	124	16.3%
② そう思わない	43	5.7%
③ ややそう思わない	68	9.0%
④ どちらともいえない	254	33.5%
⑤ ややそう思う	187	24.6%
⑥ そう思う	72	9.5%
無回答	11	1.4%
合計	759	100.0%

「③どちらともいえない」が33.5%と最も高く、次いで「④ややそう思う」が24.6%となっています。

⑤ 水や水辺と親しみやすい(河川や湧水など)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	105	13.8%
② そう思わない	148	19.5%
③ ややそう思わない	124	16.3%
④ どちらともいえない	203	26.7%
⑤ ややそう思う	113	14.9%
⑥ そう思う	53	7.0%
無回答	13	1.7%
合計	759	100.0%

「③どちらともいえない」が26.7%と最も高く、次いで「②そう思わない」が19.5%となっています。

⑥ 街路樹、屋敷林、生け垣、公園緑地等の緑が豊かだ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	5	0.7%
② そう思わない	41	5.4%
③ ややそう思わない	63	8.3%
④ どちらともいえない	137	18.1%
⑤ ややそう思う	352	46.4%
⑥ そう思う	155	20.4%
無回答	6	0.8%
合計	759	100.0%

「④ややそう思う」が46.4%と最も高く、次いで「⑥そう思う」が20.4%となっています。

⑦ 農地や土と親しみやすい

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	43	5.7%
② そう思わない	62	8.2%
③ ややそう思わない	89	11.7%
④ どちらともいえない	200	26.4%
⑤ ややそう思う	251	33.1%
⑥ そう思う	110	14.5%
無回答	4	0.5%
合計	759	100.0%

「⑤ややそう思う」が33.1%と最も高く、次いで「④どちらともいえない」が26.4%となっています。

⑧ 野鳥、昆虫、魚等の生きものと親しみやすい

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	37	4.9%
② そう思わない	81	10.7%
③ ややそう思わない	110	14.5%
④ どちらともいえない	208	27.4%
⑤ ややそう思う	229	30.2%
⑥ そう思う	89	11.7%
無回答	5	0.7%
合計	759	100.0%

「⑤ややそう思う」が30.2%と最も高く、次いで「④どちらともいえない」が27.4%となっています。

⑨ 公共の広場、公園が充実している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	10	1.3%
② そう思わない	62	8.2%
③ ややそう思わない	89	11.7%
④ どちらともいえない	151	19.9%
⑤ ややそう思う	296	39.0%
⑥ そう思う	147	19.4%
無回答	4	0.5%
合計	759	100.0%

「④ややそう思う」が 39.0%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が 19.9%となっています。

⑩ 自然の眺めやまちなみが美しい

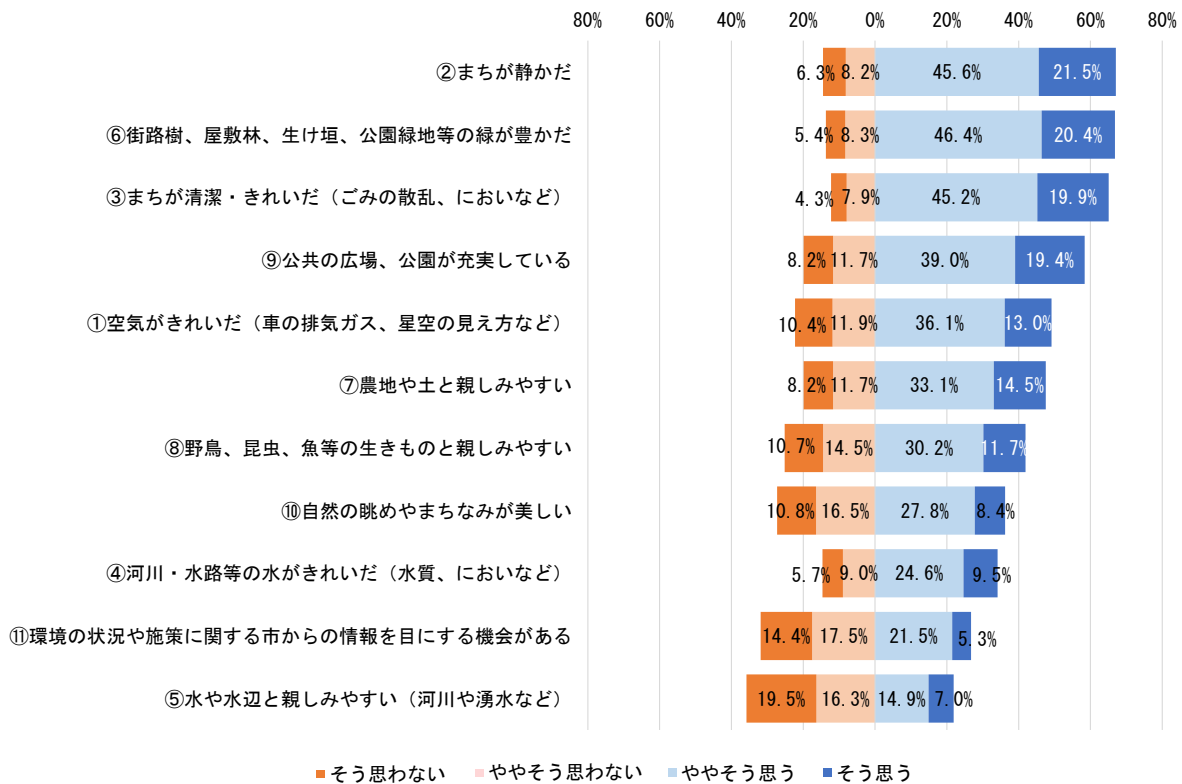
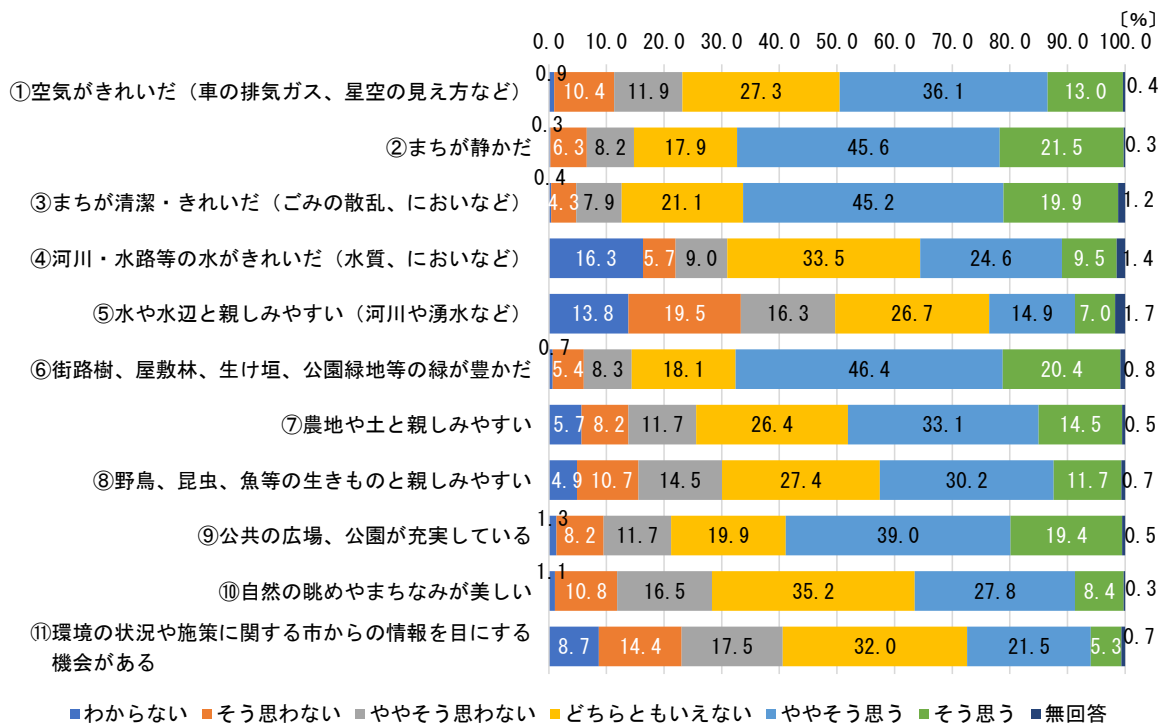
選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	8	1.1%
② そう思わない	82	10.8%
③ ややそう思わない	125	16.5%
④ どちらともいえない	267	35.2%
⑤ ややそう思う	211	27.8%
⑥ そう思う	64	8.4%
無回答	2	0.3%
合計	759	100.0%

「③どちらともいえない」が 35.2%と最も高く、次いで「④ややそう思う」が 27.8%となっています。

⑪ 環境の状況や施策に関する市からの情報を目にする機会がある

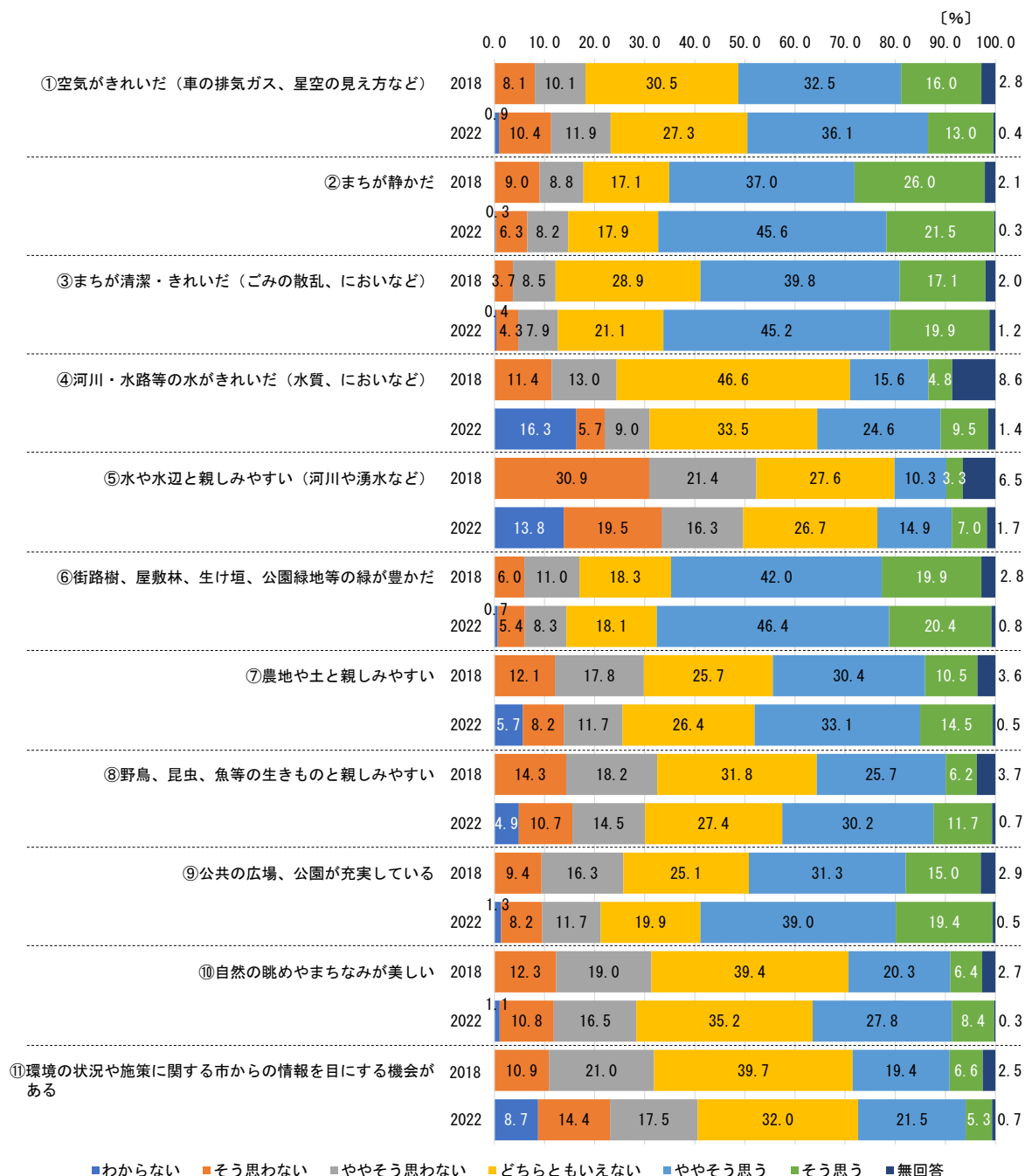
選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	66	8.7%
② そう思わない	109	14.4%
③ ややそう思わない	133	17.5%
④ どちらともいえない	243	32.0%
⑤ ややそう思う	163	21.5%
⑥ そう思う	40	5.3%
無回答	5	0.7%
合計	759	100.0%

「③どちらともいえない」が 32.0%と最も高く、次いで「④ややそう思う」が 21.5%となっています。



上記グラフは、0%を中心として、右側に「ややそう思う」「そう思う」、左側に「ややそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合をそれぞれ示しています。

「⑤水や水辺と親しみやすい（河川や湧水など）」「⑪環境の状況や施策に関する市からの情報を目にする機会がある」以外で、「ややそう思う」「そう思う」の割合の合計は、「ややそう思わない」「そう思わない」の割合の合計より高いことが分かります。



※2018年におけるアンケートでは、「わからない」は設定されていません。

2022年は2018年と比べて全ての設問で「ややそう思う」「そう思う」と答えた人の割合の合計が増えました。また、「そう思わない」「ややそう思わない」と答えた人の割合の合計は「空気がきれいだ(車の排気ガス、星空の見え方など)」以外で減っています(「まちが清潔・きれいだ(ごみの散乱、においなど)」「環境の状況や施策に関する市からの情報を目にする機会がある」は同率です。)

1.3. あなたの日ごろの行動について

環境保全のため、あなたが日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。それぞれの行動欄について、あてはまるものを1～5の中から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

① 日常での省エネ

ア 冷暖房の使用は設定温度や運転時間に配慮している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	12	1.6%
② 取り組むつもりはない	14	1.8%
③ 今後取り組みたい	38	5.0%
④ 時々取り組んでいる	279	36.8%
⑤ 常に取り組んでいる	407	53.6%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が53.6%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が36.8%となっています。

イ 夏の日差しをさえぎるための緑のカーテンやすだれを設置している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	119	15.7%
② 取り組むつもりはない	125	16.5%
③ 今後取り組みたい	165	21.7%
④ 時々取り組んでいる	139	18.3%
⑤ 常に取り組んでいる	197	26.0%
無回答	14	1.8%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が26.0%と最も高く、次いで「③今後取り組みたい」が21.7%となっています。

ウ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	89	11.7%
② 取り組むつもりはない	104	13.7%
③ 今後取り組みたい	219	28.9%
④ 時々取り組んでいる	211	27.8%
⑤ 常に取り組んでいる	124	16.3%
無回答	12	1.6%
合計	759	100.0%

「③今後取り組みたい」が28.9%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が27.8%となっています。

② 移動手段について

ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり、自転車や公共交通機関を利用したりしている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	34	4.5%
② 取り組むつもりはない	33	4.3%
③ 今後取り組みたい	47	6.2%
④ 時々取り組んでいる	218	28.7%
⑤ 常に取り組んでいる	418	55.1%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が 55.1%と最も高く、次いで「時々取り組んでいる」が 28.7%となっています。

イ 車や自転車のシェアリングサービス(共同利用サービス)を利用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	342	45.1%
② 取り組むつもりはない	233	30.7%
③ 今後取り組みたい	90	11.9%
④ 時々取り組んでいる	39	5.1%
⑤ 常に取り組んでいる	41	5.4%
無回答	14	1.8%
合計	759	100.0%

「①該当しない」が 45.1%と最も高く、次いで「②取り組むつもりはない」が 30.7%となっています。

③ 環境に配慮した商品の選択について

ア 家電を購入する際、省エネ性能を重視している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	32	4.2%
② 取り組むつもりはない	15	2.0%
③ 今後取り組みたい	124	16.3%
④ 時々取り組んでいる	295	38.9%
⑤ 常に取り組んでいる	283	37.3%
無回答	10	1.3%
合計	759	100.0%

「④時々取り組んでいる」が 38.9%と最も高く、次いで「⑤常に取り組んでいる」が 37.3%となっています。

イ 市内産農作物等を購入している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	105	13.8%
② 取り組むつもりはない	37	4.9%
③ 今後取り組みたい	170	22.4%
④ 時々取り組んでいる	327	43.1%
⑤ 常に取り組んでいる	111	14.6%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「④時々取り組んでいる」が43.1%と最も高く、次いで「③今後取り組みたい」が22.4%となっています。

ウ リサイクル商品や詰替え商品等、環境負荷が少ない商品を購入している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	53	7.0%
② 取り組むつもりはない	35	4.6%
③ 今後取り組みたい	148	19.5%
④ 時々取り組んでいる	330	43.5%
⑤ 常に取り組んでいる	186	24.5%
無回答	7	0.9%
合計	759	100.0%

「④時々取り組んでいる」が43.5%と最も高く、次いで「⑤常に取り組んでいる」が24.5%となっています。

④ ごみの減量・リサイクル

ア マイボトル、マイバッグを活用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	17	2.2%
② 取り組むつもりはない	7	0.9%
③ 今後取り組みたい	28	3.7%
④ 時々取り組んでいる	191	25.2%
⑤ 常に取り組んでいる	509	67.1%
無回答	7	0.9%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が67.1%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が25.2%となっています。

イ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	69	9.1%
② 取り組むつもりはない	47	6.2%
③ 今後取り組みたい	148	19.5%
④ 時々取り組んでいる	159	20.9%
⑤ 常に取り組んでいる	327	43.1%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が43.1%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が20.9%となっています。

ウ 生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	220	29.0%
② 取り組むつもりはない	187	24.6%
③ 今後取り組みたい	205	27.0%
④ 時々取り組んでいる	59	7.8%
⑤ 常に取り組んでいる	78	10.3%
無回答	10	1.3%
合計	759	100.0%

「①該当しない」が29.0%と最も高く、次いで「③今後取り組みたい」が27.0%となっています。

エ 食材は必要な分だけ購入し、食べ残し、未使用の食品の廃棄など食品ロスの発生を抑えるよう心がけている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	16	2.1%
② 取り組むつもりはない	7	0.9%
③ 今後取り組みたい	89	11.7%
④ 時々取り組んでいる	269	35.4%
⑤ 常に取り組んでいる	371	48.9%
無回答	7	0.9%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が48.9%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が35.4%となっています。

⑤ 自然環境・生物多様性の配慮

ア 自宅で植物を育てている(庭木・生垣・プランターなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	112	14.8%
② 取り組むつもりはない	89	11.7%
③ 今後取り組みたい	80	10.5%
④ 時々取り組んでいる	142	18.7%
⑤ 常に取り組んでいる	330	43.5%
無回答	6	0.8%
合計	759	100.0%

「⑤常に取り組んでいる」が43.5%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が18.7%となっています。

イ 公園や緑地、水辺などで自然にふれあう

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	66	8.7%
② 取り組むつもりはない	21	2.8%
③ 今後取り組みたい	165	21.7%
④ 時々取り組んでいる	323	42.6%
⑤ 常に取り組んでいる	175	23.1%
無回答	9	1.2%
合計	759	100.0%

「④時々取り組んでいる」が42.6%と最も高く、次いで「⑤常に取り組んでいる」が23.1%となっています。

⑥ 水環境への配慮

ア 水道を使う際には、節水を心がけている

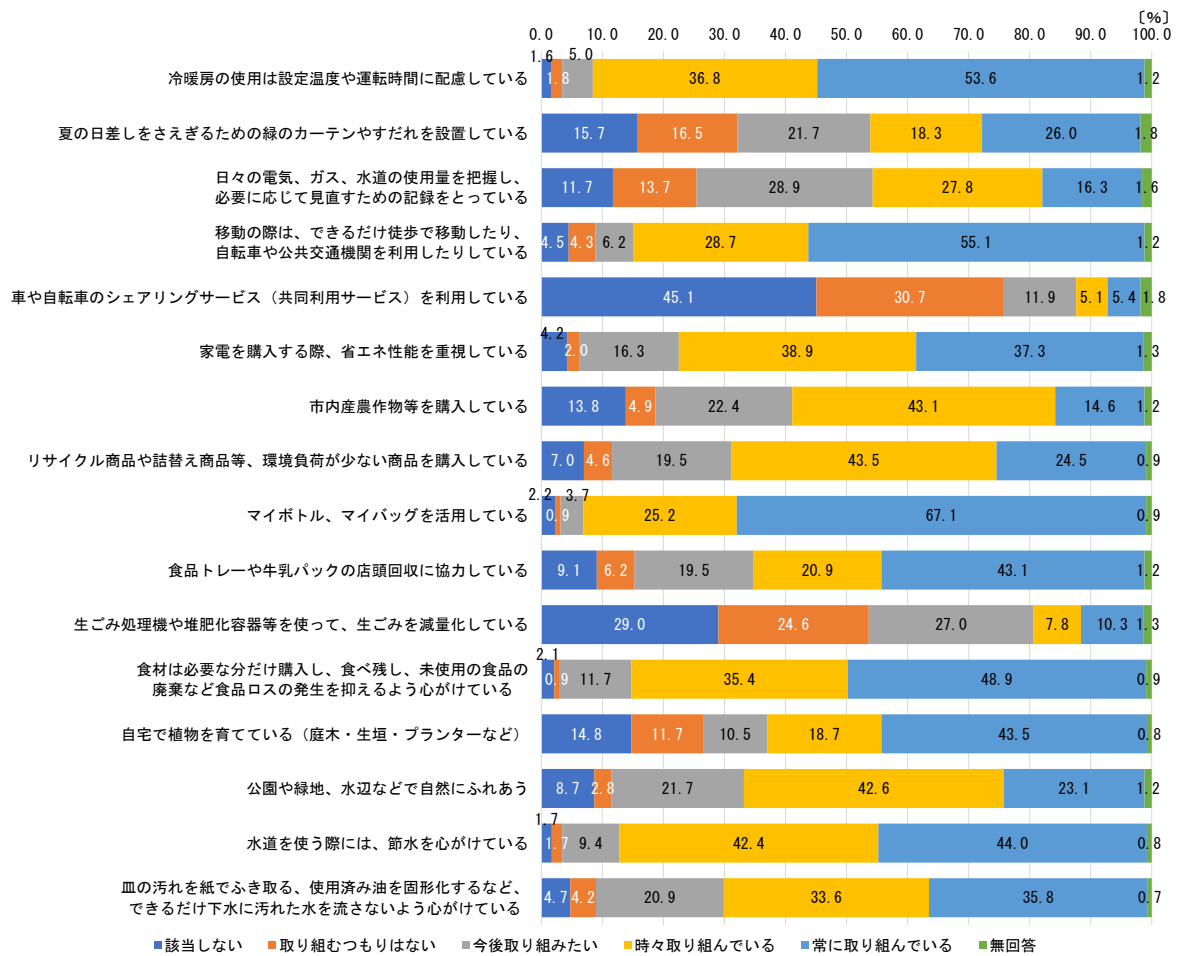
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	13	1.7%
② 取り組むつもりはない	13	1.7%
③ 今後取り組みたい	71	9.4%
④ 時々取り組んでいる	322	42.4%
⑤ 常に取り組んでいる	334	44.0%
無回答	6	0.8%
合計	759	100.0%

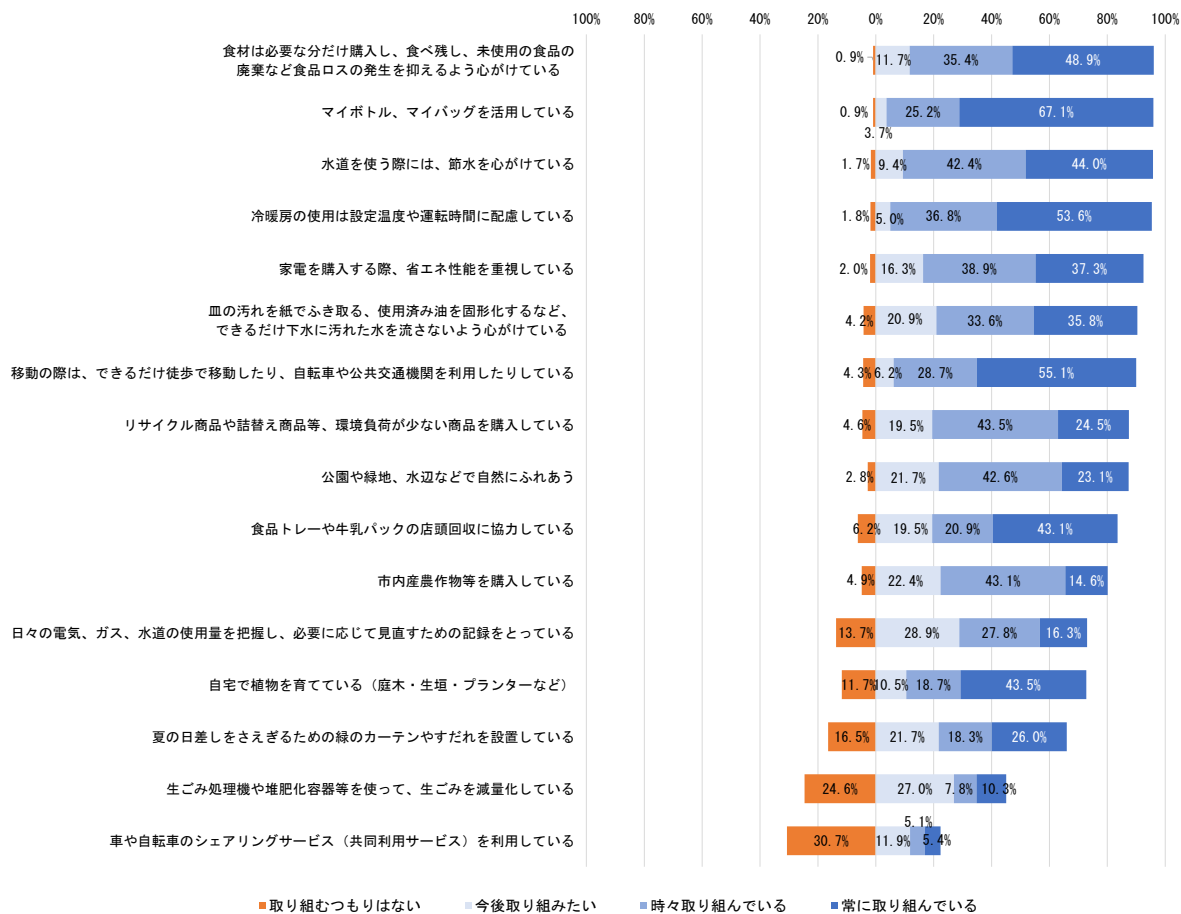
「⑤常に取り組んでいる」が44.0%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が42.4%となっています。

イ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 該当しない	36	4.7%
② 取り組むつもりはない	32	4.2%
③ 今後取り組みたい	159	20.9%
④ 時々取り組んでいる	255	33.6%
⑤ 常に取り組んでいる	272	35.8%
無回答	5	0.7%
合計	759	100.0%

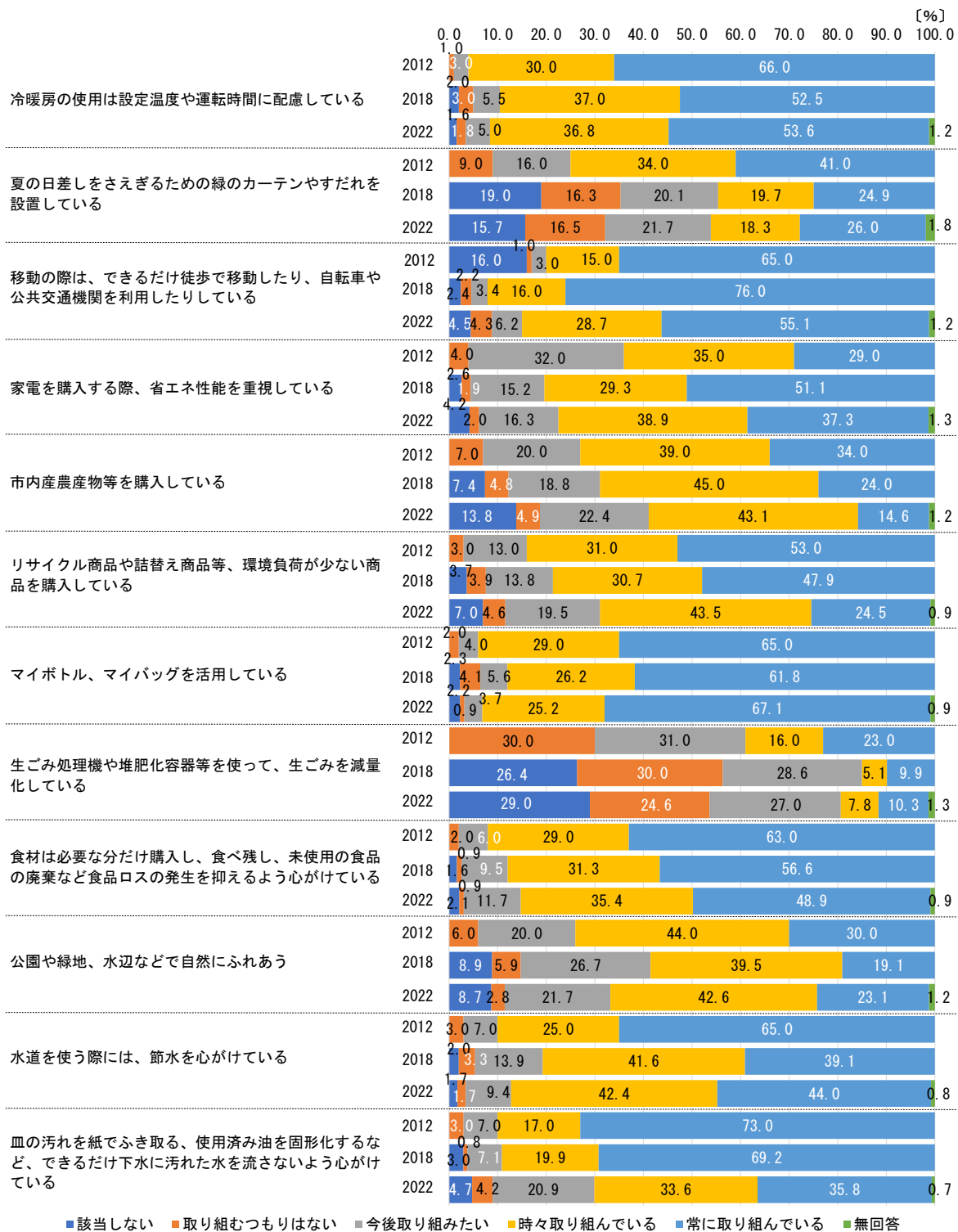
「⑤常に取り組んでいる」が35.8%と最も高く、次いで「④時々取り組んでいる」が33.6%となっています。





上記グラフは、0%中心として、右側に「今後取り組みたい」「時々取り組んでいる」「常に取り組んでいる」、左側に「取り組むつもりはない」と回答した人の割合をそれぞれ示しています。

「今後取り組みたい」「時々取り組んでいる」「常に取り組んでいる」と回答した人の割合の合計が、「車や自転車のシェアリングサービス(共同サービス)を利用している」以外で「取り組むつもりはない」と回答した人より高いことがわかります。

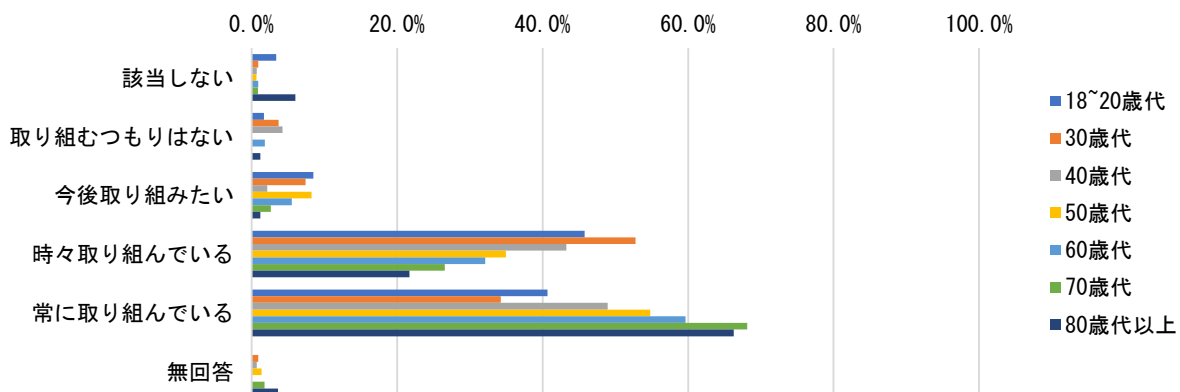


2022年は2018年と比べて「冷暖房の使用は設定温度や運転時間に配慮している」「マイボトル、マイバッグを活用している」「生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化している」「公園や緑地、水辺などで自然にふれあう」「水道を使う際には、節水を心がけている」で、「時々取り組んでいる」「常に取り組んでいる」と答えた人の割合の合計が高くなっています。

【(参考)クロス集計】

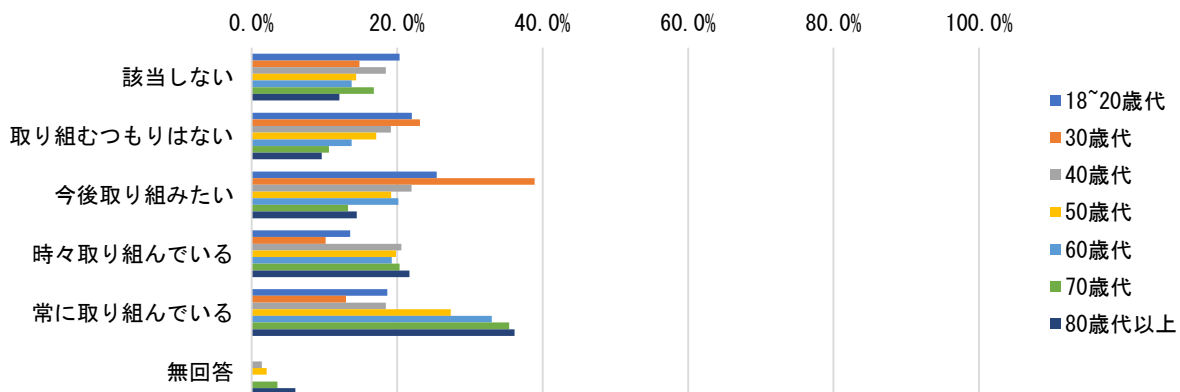
① 日常での省エネ

ア 冷暖房の使用は設定温度や運転時間に配慮している



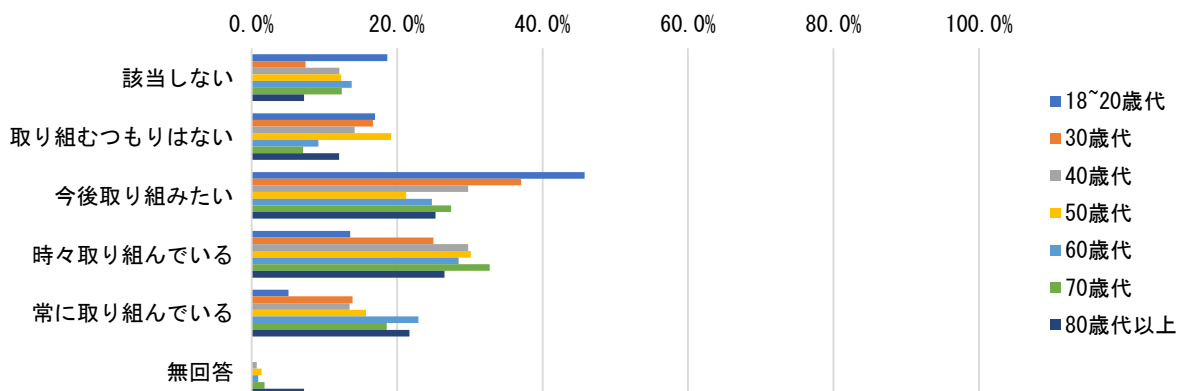
18~30 歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も高く、40~80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

イ 夏の日差しをさえぎるための緑のカーテンやすだれを設置している



18~40 歳代では「今後取り組みたい」の割合が最も高く、50~80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

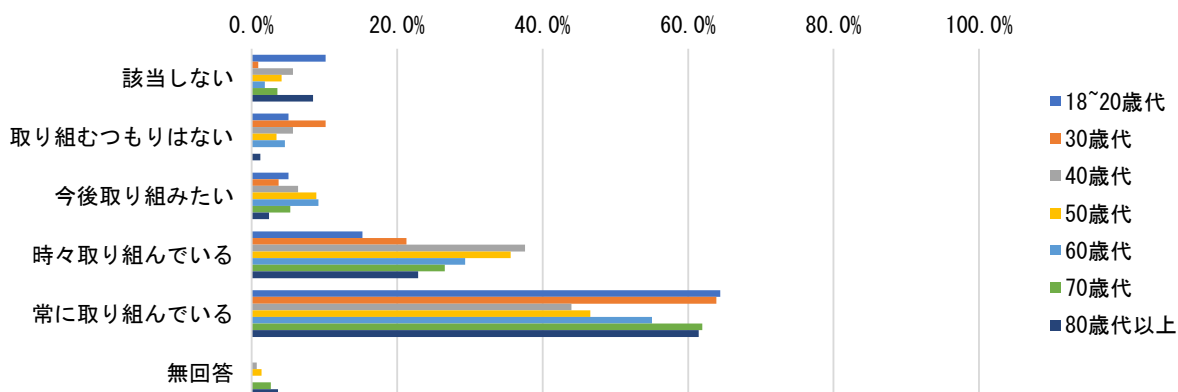
ウ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている



18~30 歳代では「今後取り組みたい」の割合が最も高く、40 歳代では「今後取り組みたい」「時々取り組んでいる」の割合が高いです。50~80 歳代以上では「時々取り組んでいる」の割合が最も高いです。

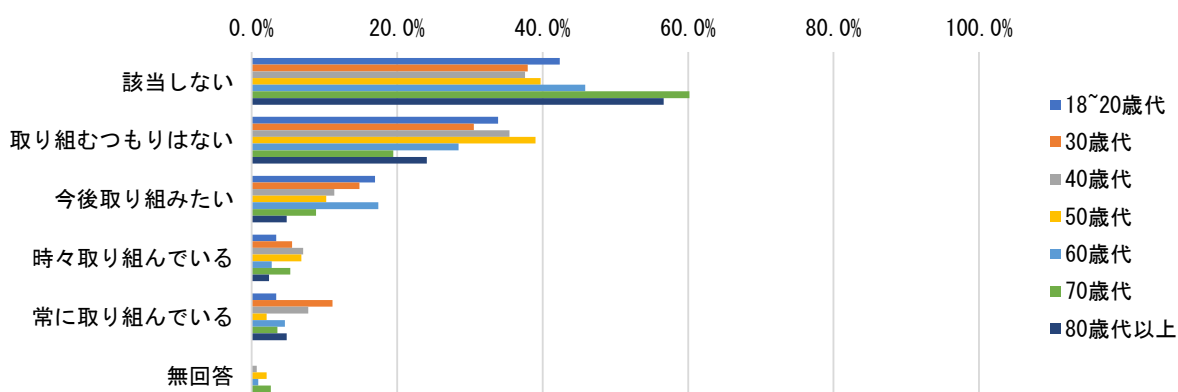
② 移動手段について

ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり、自転車や公共交通機関を利用したりしている



どの世代でも「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

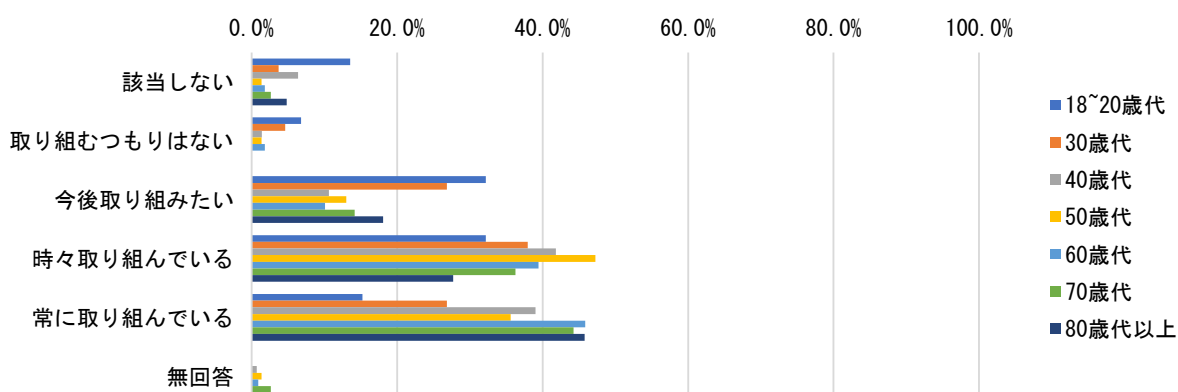
イ 車や自転車のシェアリングサービス(共同利用サービス)を利用している



どの世代でも「該当しない」の割合が最も多く、次いで「取り組むつもりはない」が高いです。

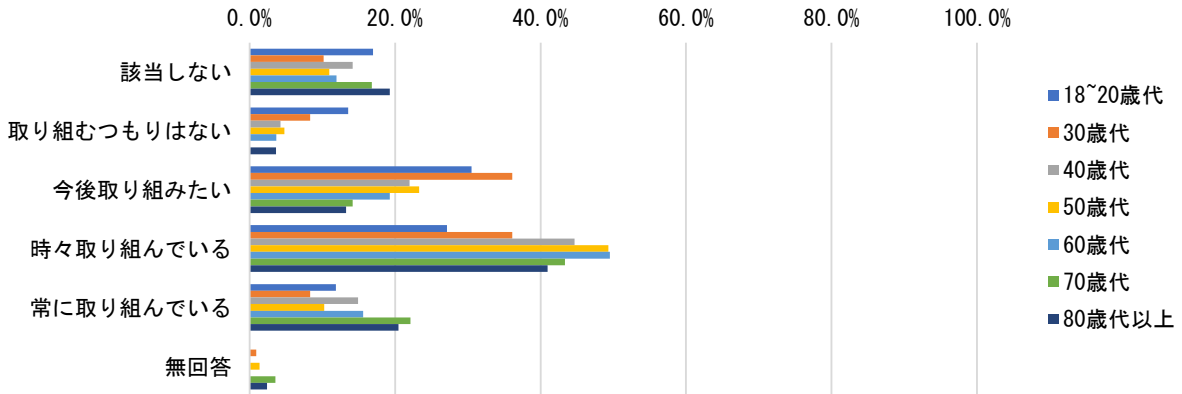
③ 環境に配慮した商品の選択について

ア 家電を購入する際、省エネ性能を重視している



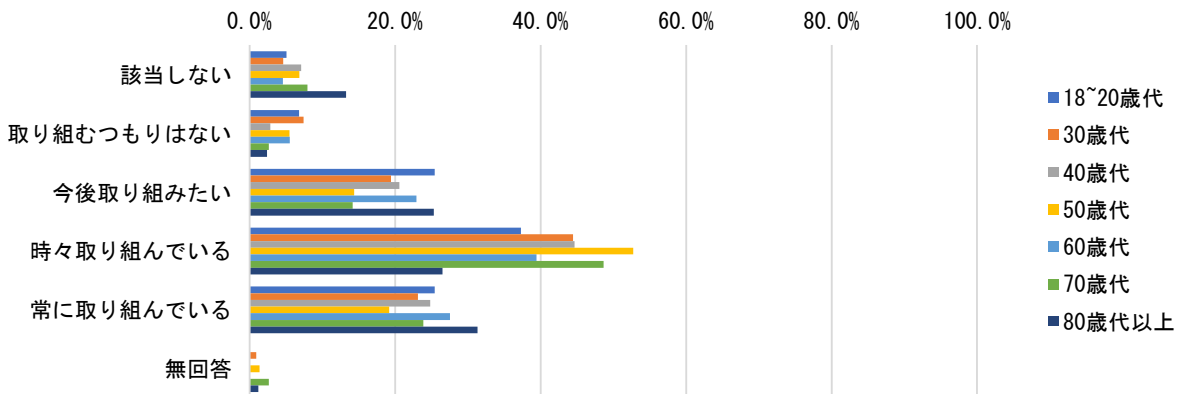
18~20歳代では「今後取り組みたい」「時々取り組んでいる」の割合が多いです。30~50歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も多く、60~80歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も多いです。

イ 市内産農作物等を購入している



18~20 歳代では「今後取り組みたい」の割合が最も高く、30 歳代では「今後取り組みたい」「時々取り組んでいる」の割合が高いです。40~80 歳代以上では「時々取り組んでいる」の割合が最も高いです。

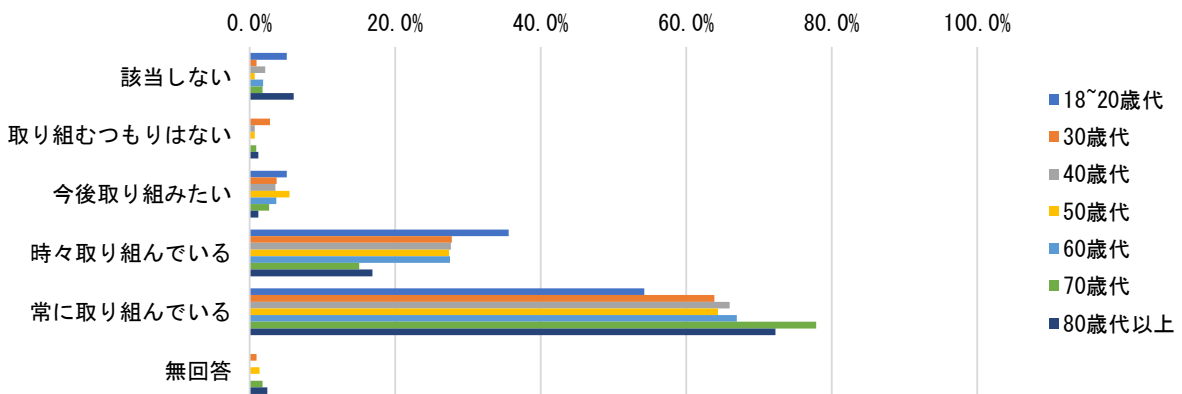
ウ リサイクル商品や詰替え商品等、環境負荷が少ない商品を購入している



18~70 歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も高く、80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

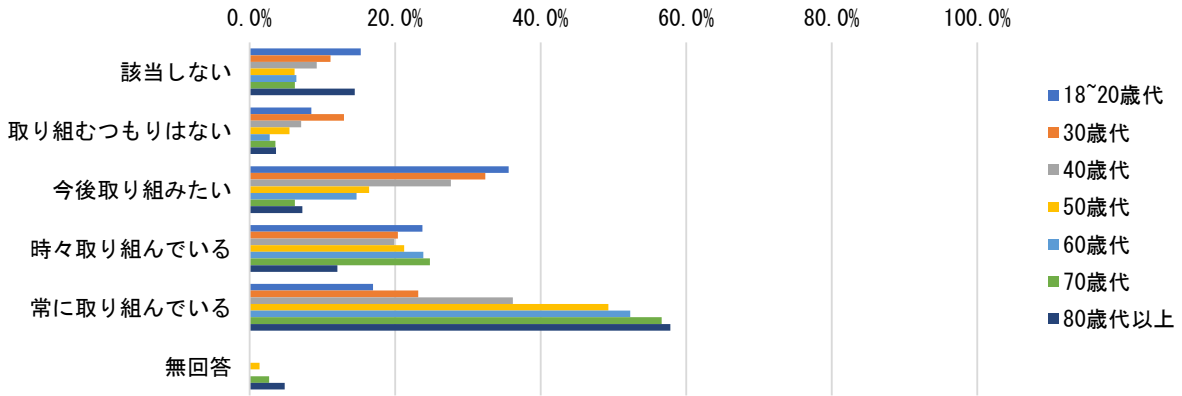
④ ごみの減量・リサイクル

ア マイボトル、マイバッグを活用している



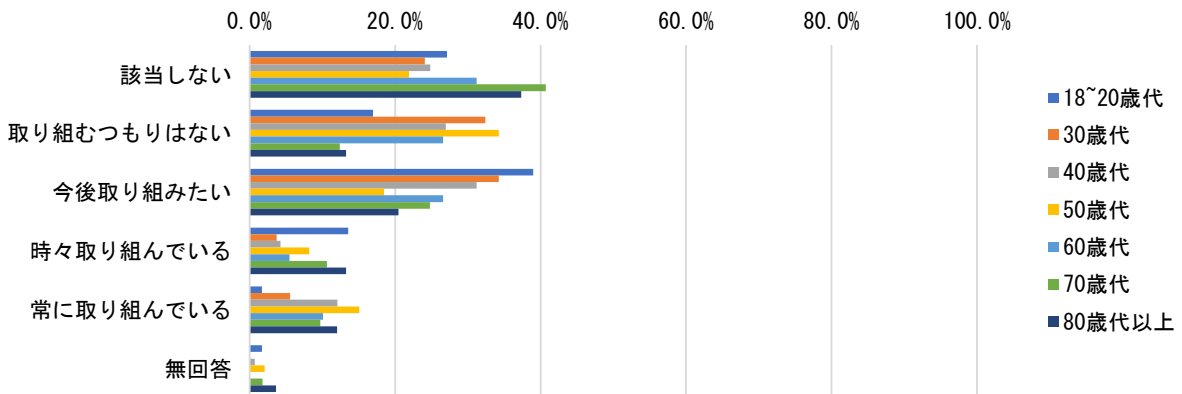
どの世代でも「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

イ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している



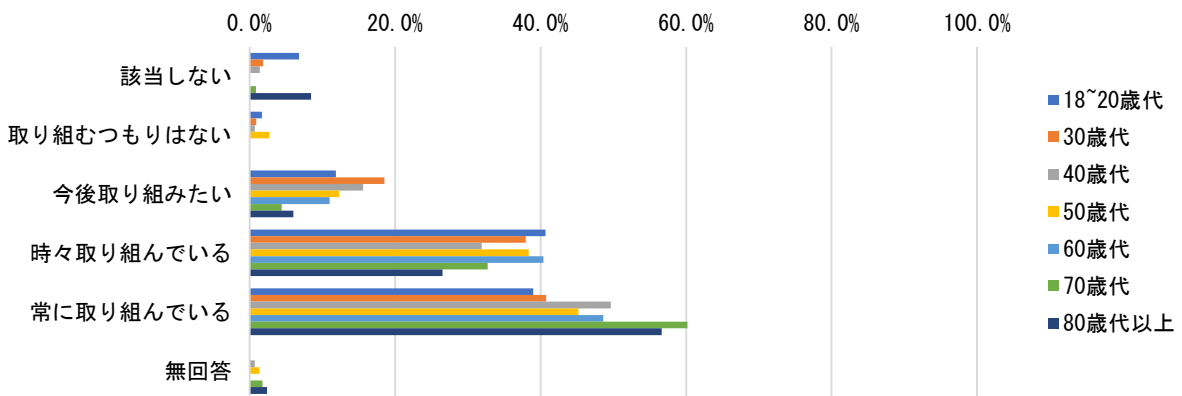
18~30 歳代では「今後取り組みたい」の割合が最も高く、40~80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

ウ 生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化している



18~40 歳代では「今後取り組みたい」の割合が高く、50 歳代では「取り組むつもりはない」の割合が最も高いです。60 歳~80 歳以上では「該当しない」の割合が最も高いです。

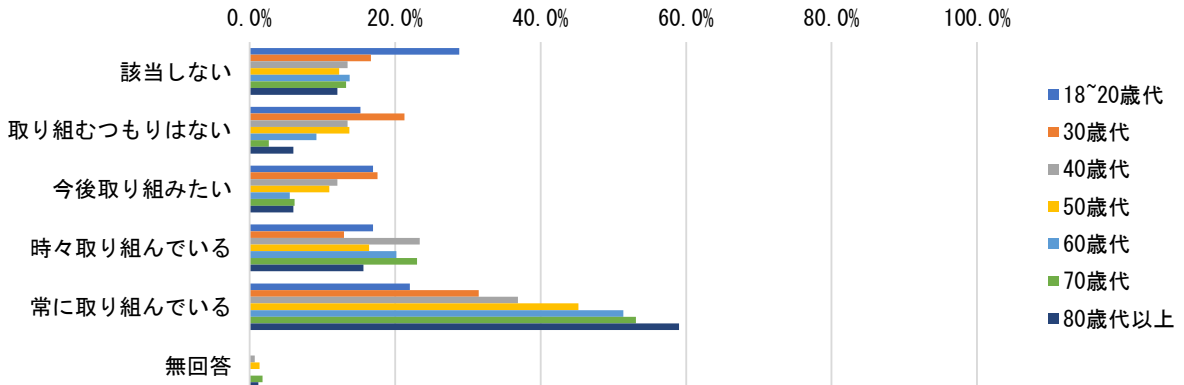
エ 食材は必要な分だけ購入し、食べ残し、未使用の食品の廃棄など食品ロスの発生を抑えるよう心がけている



18~20 歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も高く、30~80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

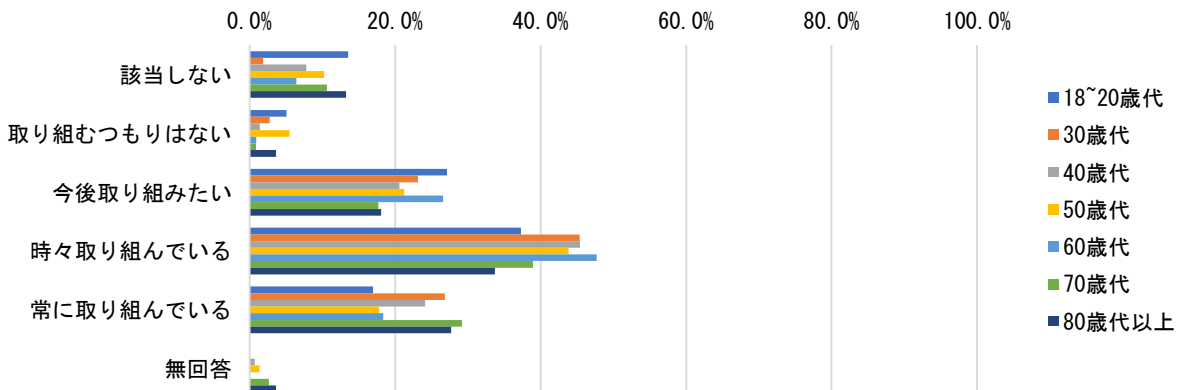
⑤ 自然環境・生物多様性の配慮

ア 自宅で植物を育てている(庭木・生垣・プランターなど)



どの世代でも「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

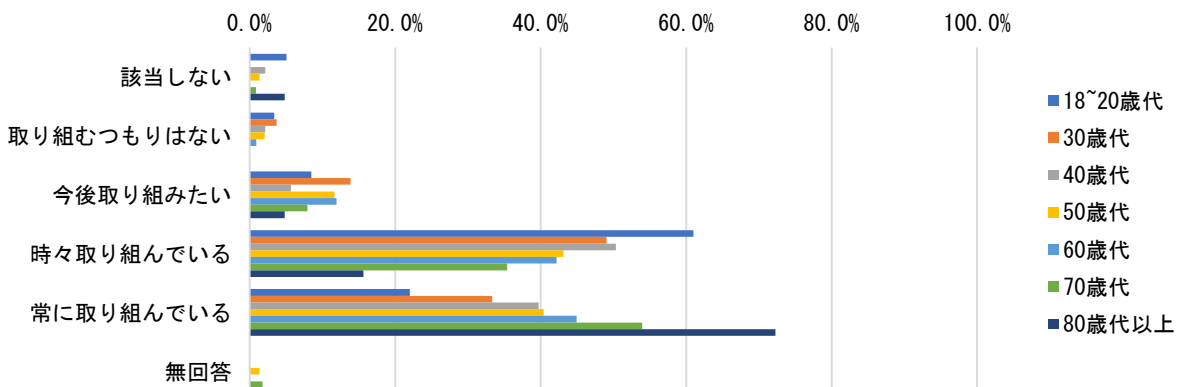
イ 公園や緑地、水辺などで自然にふれあう



どの世代でも「時々取り組んでいる」の割合が最も高いです。

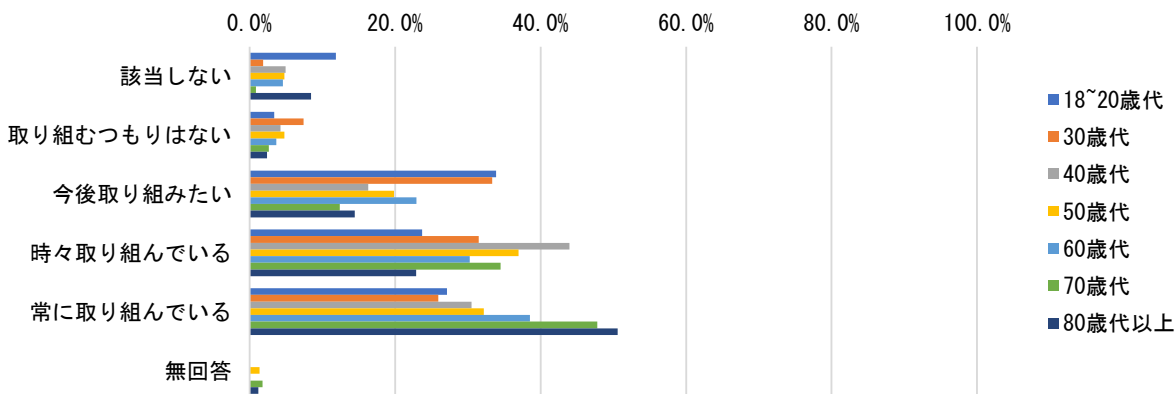
⑥ 水環境への配慮

ア 水道を使う際には、節水を心がけている



18~50歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も高く、60~80歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

イ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている



18～30 歳代では「今後取り組みたい」の割合が最も高く、40～50 歳代では「時々取り組んでいる」の割合が最も高く、60～80 歳代以上では「常に取り組んでいる」の割合が最も高いです。

1.4. 西東京市の環境保全の取組について

西東京市の環境を保全するために、以下の分野で市はどのようなことに優先して取り組むべきと思いますか。(いくつでも○)

(1) みどりの保全・生物多様性

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 公園、学校、公共施設、道路の街路樹のみどりを増やす取組	509	67.1%
② 社寺林、屋敷林のみどりや農地を守る取り組み取組	241	31.8%
③ 緑被率向上のため、の市民、事業所への支援	171	22.5%
④ 生き物が棲みやすい環境の創出、生物多様性の保全	283	37.3%
⑤ みどりを守り育てる人材や市民活動の育成・支援	354	46.6%
合計	1558	

「①公園、学校、公共施設、道路の街路樹のみどりを増やす取組」が 67.1%と最も高く、次いで「⑤みどりを守り育てる人材や市民活動の育成・支援」が 46.6%となっています。

(2) 資源の有効活用、ごみの削減

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 不用品については、フリーマーケット、リサイクルショップの活用等による再利用、資源回収等による資源化を進める	522	68.8%
② 家庭や事業所から排出されるごみの削減を進める。	280	36.9%
③ ごみ排出ルールの徹底について、市民へ啓発する等、効率的なごみ処理を進める。	317	41.8%
合計	1119	

「①不用品については、フリーマーケット、リサイクルショップの活用等による再利用、資源回収等による資源化を進める」が 68.8%と最も高く、次いで「③ごみ排出ルールの徹底について、市民へ啓発する等、効率的なごみ処理を進める」が 41.8%となっています。

(3) 安心・安全な生活環境の確保について

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大気や水、騒音、土壌等についての継続的な調査と、その結果についての情報を公開する	272	35.8%
② 大気や水を守るため、保全に向けた市民や事業者への呼びかけや汚染対策を実施する	235	31.0%
③ 幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備を行い、安全・安心な交通環境を確保する	519	68.4%
④ 良好なまちなみ景観の保全、ポイ捨てや路上喫煙防止等、市内美化を実施する	432	56.9%
合計	1458	

「③幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備を行い、安全・安心な交通環境を確保する」が 68.4%と最も高く、次いで「④良好なまちなみ景観の保全、ポイ捨てや路上喫煙防止等、市内美化を実施する」が 56.9%となっています。

(4) 環境意識、協働の仕組みづくり

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る。	330	43.5%
② 市内の環境の現状や様々な環境問題について、情報を発信する。	385	50.7%
③ 環境に関する市民活動などへの助成を行う。	220	29.0%
④ 環境に関する全市的なキャンペーンを行う。	244	32.1%
合計	1179	

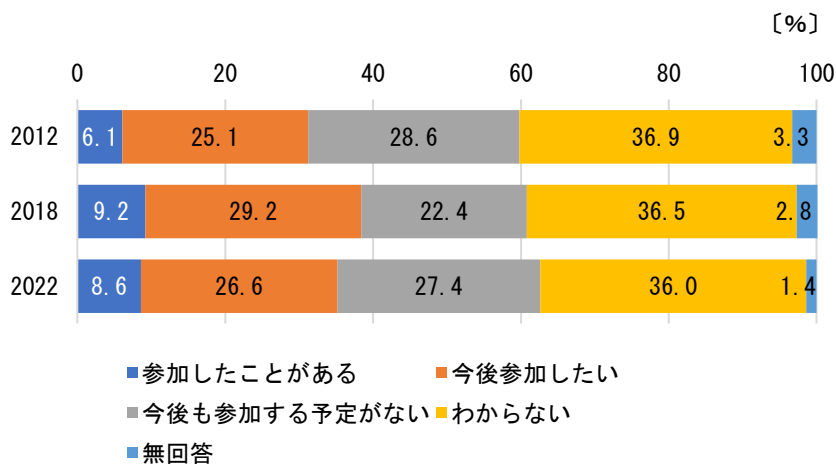
「②市内の環境の現状や様々な環境問題について、情報を発信する。」が 50.7%と最も高く、次いで「①環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る」が 43.5%となっています。

1.5. 環境保全活動への参加について

市内で行われている環境保全活動に参加したことはありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。(1つに○)

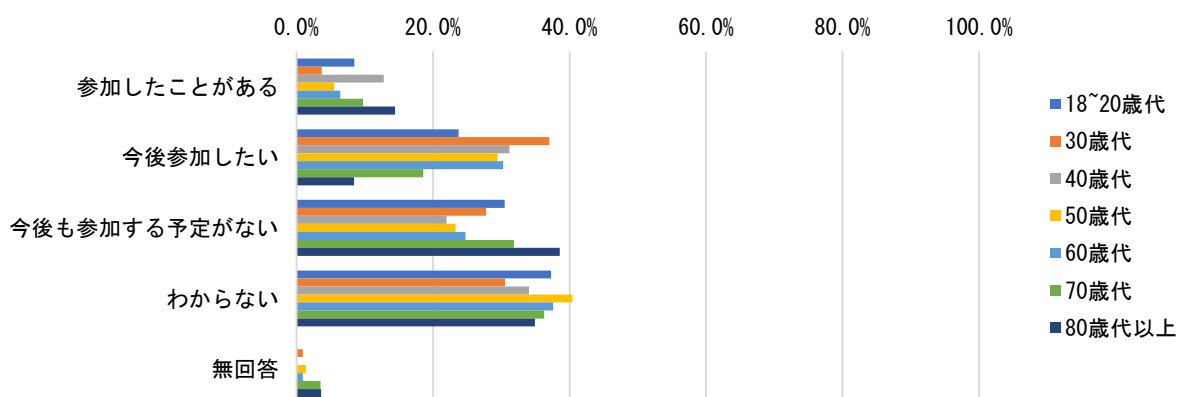
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 参加したことがある	65	8.6%
② 今後参加したい	202	26.6%
③ 今後も参加する予定がない	208	27.4%
④ わからない	273	36.0%
無回答	11	1.4%
合計	759	100.0%

「④わからない」が 36.0%と最も高く、次いで「③今後も参加する予定がない」が 27.4%となっています。



2022年は2018年と比べて0.6%減っています。

【(参考)クロス集計】



30歳代では「今後参加したい」の割合が最も高く、80歳代以上では「今後も参加する予定がない」の割合が最も高く、それ以外の年代では「わからない」の割合が最も高いです。

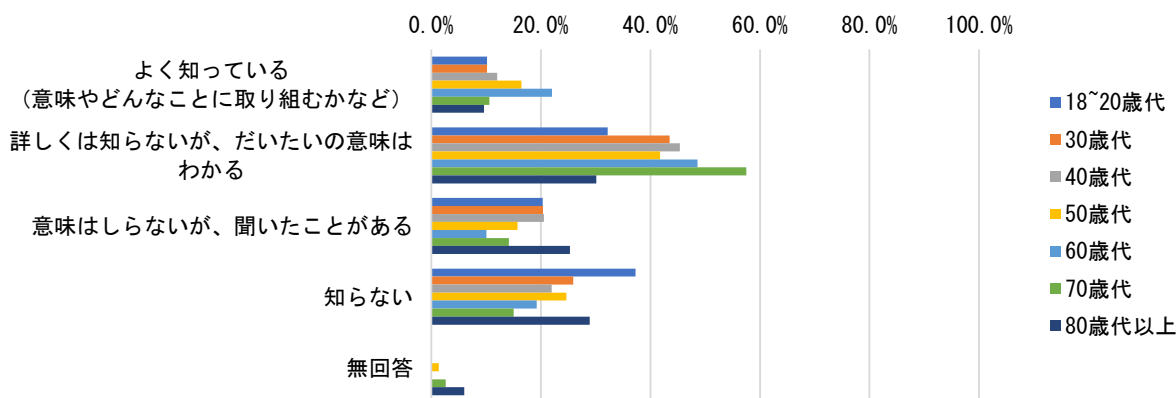
1.6. 環境用語について

西東京市は、令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、地域全体で脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指しています。あなたは、「ゼロカーボン」という言葉を知っていますか。

選択肢	回答者数	割合 (%)
① よく知っている (意味やどんなことに取り組むかなど)	102	13.4%
② 詳しくは知らないが、だいたいの意味はわかる	334	44.0%
③ 意味はしらないが、聞いたことがある	134	17.7%
④ 知らない	179	23.6%
無回答	10	1.3%
合計	759	100.0%

「①よく知っている(意味やどんなことに取り組むかなど)」「②詳しくは知らないが、だいたいの意味はわかる」の人の割合の合計が57.4%となり、半数以上になっています。

【(参考)クロス集計】



30~80 歳代では「詳しくは知らないが、だいたいの意味はわかる」の割合が最も高く、18~20 歳代では「知らない」の割合が最も高いです。

1.7. 「地球温暖化対策」に対するあなたのお考えについて

近年、気候変動による干ばつ、台風の強大化、海面上昇などが問題とされており、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加による地球温暖化が原因であると言われています。西東京市では、この地球温暖化を防止するため、脱炭素社会の実現を目指して、現在、取組みを進めています。

(1) あなたがイメージする 2050 年脱炭素社会を実現した西東京市について、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 電力のすべてが再生可能エネルギー由来の電力で賄われている	269	35.4%
② 走行する自動車は、すべて電気自動車や燃料電池自動車である	252	33.2%
③ ありとあらゆる場所に電気自動車や燃料電池自動車の充電スポットがある	316	41.6%
④ 移動は、自動車よりも自転車が優先的に利用されている	179	23.6%
⑤ すべての住宅やビルでエネルギーの高効率化がされている	323	42.6%
⑥ いま以上に花や樹木といったみどりがあふれている	361	47.6%
⑦ 農地が保全され、市内農産物が十分に流通している	296	39.0%
⑧ 食品ロスの削減や4Rが徹底され、ごみの減量が進んでいる	448	59.0%
⑨ その他	23	3.0%
合計	2467	

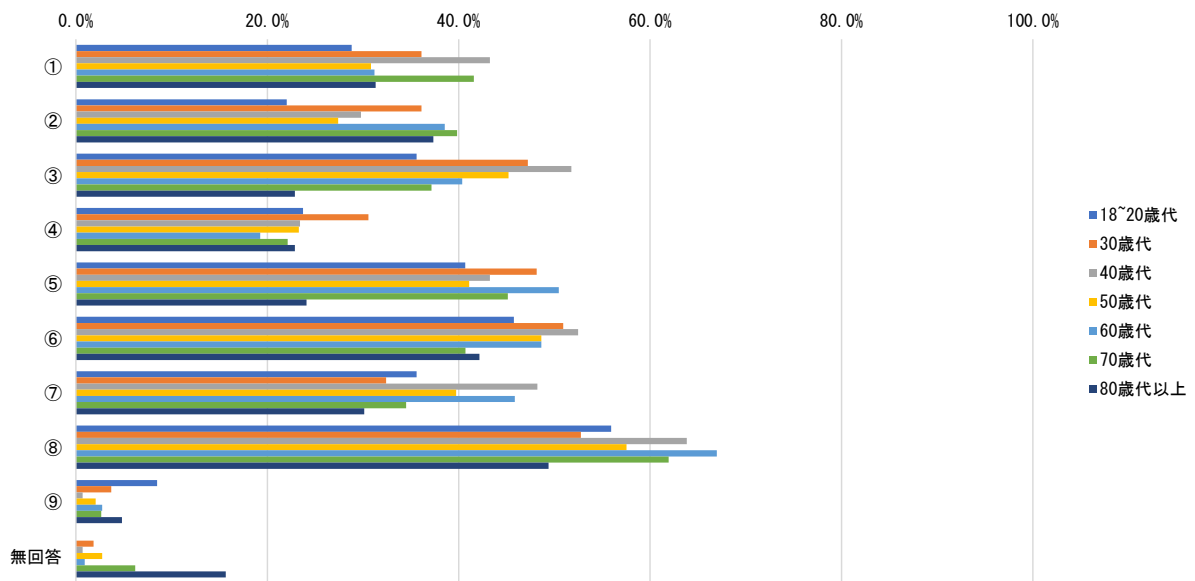
⑨その他の自由記載

- ・まだ利用されていないと思う。
- ・無理
- ・電気自動車のバッテリー・電池自動車の処分方法が問題。
- ・新設される公共設備・施設・住宅は全て再生可能エネルギーの設置。また、市内の電車も太陽エネルギーで賄っているような社会になっている。
- ・人々が「脱炭素社会の実現」「地球環境の保全・改良」との狭間で苦悩しながら改善を模索する努力をする。
- ・太陽光発電をあらゆる場所に設置
- ・原発反対。再生可能エネルギーの研究に力を入れるべき。
- ・LED化・ミニ風力・風力発電。(各戸に)
- ・国からの交付金を活用し、先行して脱炭素を目指すモデル地域。
- ・デジタル化が進み、今以上に紙ごみが減る。

- ・環境問題・自然・生物・第一次産業等への人々の関心が高まっている。
- ・ゴミを捨てる場所が近くにあり、持ち込みできる。
- ・どれも当てはまらない。
- ・実現を目指すことに敬意を表しますが、完成度が不安です。
- ・費用面、環境面でも個人的負担がゼロで取り組めている事、継続していける事
- ・移動手段で歩く人が増える。歩きたくなるような歩道が整備されている。樹木や草花や農地など季節の移り変わりなどを感じたくなるような道の整備がされている。
- ・フリーマーケットの開催
- ・日本では PHEV、HV を活用していくべき。全 EV 政策は不要。

「㊸食品ロスの削減や4R が徹底され、ごみの減量が進んでいる」が 59.0%と最も高く、次いで「㊶いま以上に花や樹木といったみどりがあふれている」が 47.6%となっています。

【(参考)クロス集計】



どの世代でも「㊸食品ロスの削減や4R が徹底され、ごみの減量が進んでいる」の割合が最も高いです。

(2) (1)で答えたイメージの西東京市を実現するために、あなたが取り組みたいと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 自宅に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する	154	20.3%
② 電力会社から再生可能エネルギー由来の電力を購入する	163	21.5%
③ 電気自動車や燃料電池自動車を使用する	192	25.3%
④ 自宅をZEH化する	105	13.8%
⑤ みどりの保全・緑化を推進する	326	43.0%
⑥ 市内農産物を積極的に購入する(地産地消)	417	54.9%
⑦ リユース品やリサイクル品を使用する	330	43.5%
⑧ ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない	338	44.5%
⑨ その他	14	1.8%
合計	2039	

⑨その他の自由記載

- ・自分の購入するものが手元に届くまでの間に排出されるCO₂が、抑えられたものを選びたい。プラスチック製品より木製・竹製等で出来たものを購入し、自然の循環に協力したい。
- ・「脱炭素社会」についてよく学びたい。
- ・自分でも野菜を育てる。
- ・各戸に再生可能エネルギーの補助。
- ・日常生活で節電・節水・フードロスに気をつける。
- ・協力支援してくれた人にはポイントや優待券などで助成してあげるなどを推進すること。
- ・ちゃんと再生可能エネルギーが作れるシステム(現在作成中)
- ・自転車に乗っているときは、歩行者が安心できるような運転を心がける、またルール遵守した運転をして自動車と共に事故のない、お互い気持ち良く運転できる環境をつくる。

「⑥市内農産物を積極的に購入する(地産地消)」が54.9%と最も高く、次いで「⑧ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない」が44.5%となっています。

(3) (1)で答えたイメージの西東京市を実現するために、市が取り組むべきと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 公共施設に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する	430	56.7%
② 市が使う自動車（庁用車）を電気自動車又は燃料電池自動車に変える	302	39.8%
③ 電気自動車や燃料電池自動車の充電スポットを整備する	342	45.1%
④ 公共施設をZEB化する	293	38.6%
⑤ 農地を保全し、市内農産物を活用する施策を展開する	419	55.2%
⑥ リユース品やリサイクル品を使用する	332	43.7%
⑦ ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない	321	42.3%
⑧ その他	27	3.6%
合計	2466	

⑧その他の自由記載

- ・二酸化炭素排出削減に資する家庭向け補助金。
- ・周知徹底による活性化のために学習機会を大に行う。
- ・市民への情報発信・啓発活動、事業者への環境に対する補助金。
- ・自転車が行ける車道の拡充で自動車を使う人を減らせるのでは。
- ・1～4もするべきだが、予算との関係が重要。低廉化してからが良い。
- ・樹木に固定資産税免除。
- ・国市地方行政が、まずはデジタル化を進めて効率化を図り、企業や行政のリーダー的な在り方をして欲しい。
- ・自宅でも再生可能エネルギー由来の電力発電が出来やすいよう助成する。
- ・近々画期的なパネルが発明される。(ペラペラ状)
- ・わからない
- ・地元のオーガニック野菜を学校・保育園で使用してほしい
- ・助成金、ごみの有料化による増分を市民の助成金に充てるべき
- ・協力をする程に見合う助成やサービスなど特典があると良さそう。
- ・東京大学の地を市とタイアップし、市民の憩いの場、観光地として残してほしい。
- ・ベビーカーなどの子供用品で使わなくなったものを集めて、欲しい人がもらえる展示スペースを作り、いつでも欲しい人が見ってもらえるとゴミが減り、ウィンウィンになって良いと思います。
- ・太陽光パネルを作成するのに太陽光が作り出す電力を使うので意味がない。
- ・道路の整備。歩行者、自転車、自動車、それぞれ安心安全に過ごせる整備。
- ・フリーマーケット開催
- ・県外からも集まるコストコなどの大型のスーパーや複合施設を誘致し、地域の農作物や食品などを扱ってもらう。

「①公共施設に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する」が56.7%と最も高く、次いで「⑤農地を保全し、市内農産物を活用する施策を展開する」が55.2%となっています。

(4) (1)で答えたイメージの西東京市を実現するために、事業者が取り組むべきと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 事業所建物に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する	416	54.8%
② 事業者が使う車両を電気自動車又は燃料電池自動車に変える	337	44.4%
③ 事業所建物をZEB化する	301	39.7%
④ 市内農産物を積極的に活用する	375	49.4%
⑤ リユース品やリサイクル品を使用する	346	45.6%
⑥ ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない	355	46.8%
⑦ その他	17	2.2%
合計	2147	

⑦その他の自由記載

- ・事業者が、従業員に節電するよう教育し会社全体で節電に取り組む。
- ・「利益」と「社会貢献」の実現をどのように実を結ばせるか具現化する。
- ・ZEHと再生可能エネルギーを使って、地域の経済がまわる仕組みを考える。
- ・パネルは誰でも使えるものでないと不可能。
- ・環境保全のための施策が環境破壊に繋がっているのでは。
- ・難しいと思います。まずは使う量を減らすのが先。
- ・自動車の安全運転の徹底、環境美化(外部から見えるところにゴミを長期間置くなどしないなどの街の美観を損なうような管理をしない)

「①事業所建物に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する」が54.8%と最も高く、次いで「④市内農産物を積極的に活用する」が49.4%となっています。

1.8. あなたのお住まいについて

あなたのご自宅について、今後、次のような環境に配慮した設備を導入する予定はありますか。それぞれの設備について、ご自宅の状況に最もあてはまるものを1～5から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

(1) 太陽光発電システム(ソーラーパネル)

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	32	4.2%
② 今後導入する予定である	10	1.3%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	192	25.3%
④ 導入するつもりはない	235	31.0%
⑤ 該当しない(賃貸等)	277	36.5%
無回答	13	1.7%
合計	759	100.0%

「⑤該当しない(賃貸等)」が 36.5%と最も高く、次いで「④導入するつもりはない」が 31.0%となっています。

(2) 蓄電池

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	22	2.9%
② 今後導入する予定である	13	1.7%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	244	32.1%
④ 導入するつもりはない	192	25.3%
⑤ 該当しない(賃貸等)	268	35.3%
無回答	20	2.6%
合計	759	100.0%

「⑤該当しない(賃貸等)」が 35.3%と最も高く、次いで「③予定はないが補助があれば導入してみたい」が 32.1%となっています。

(3) 燃料電池(エネファーム等)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	38	5.0%
② 今後導入する予定である	8	1.1%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	233	30.7%
④ 導入するつもりはない	196	25.8%
⑤ 該当しない(賃貸等)	263	34.7%
無回答	21	2.8%
合計	759	100.0%

「⑤該当しない(賃貸等)」が 34.7%と最も高く、次いで「③予定はないが補助があれば導入してみたい」が 30.7%となっています。

(4) 給湯器(ヒートポンプ給湯器、ガスエンジン給湯器、潜熱回収型ガス給湯器)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	155	20.4%
② 今後導入する予定である	11	1.4%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	207	27.3%
④ 導入するつもりはない	124	16.3%
⑤ 該当しない(賃貸等)	237	31.2%
無回答	25	3.3%
合計	759	100.0%

「⑤該当しない(賃貸等)」が 31.2%と最も高く、次いで「③予定はないが補助があれば導入してみたい」が 27.3%となっています。

(5) 複層ガラスサッシ、二重窓

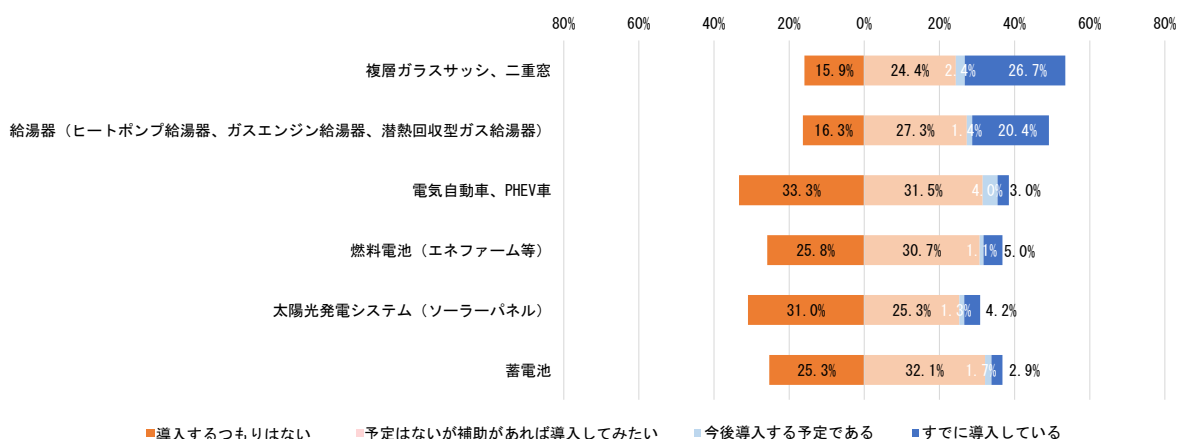
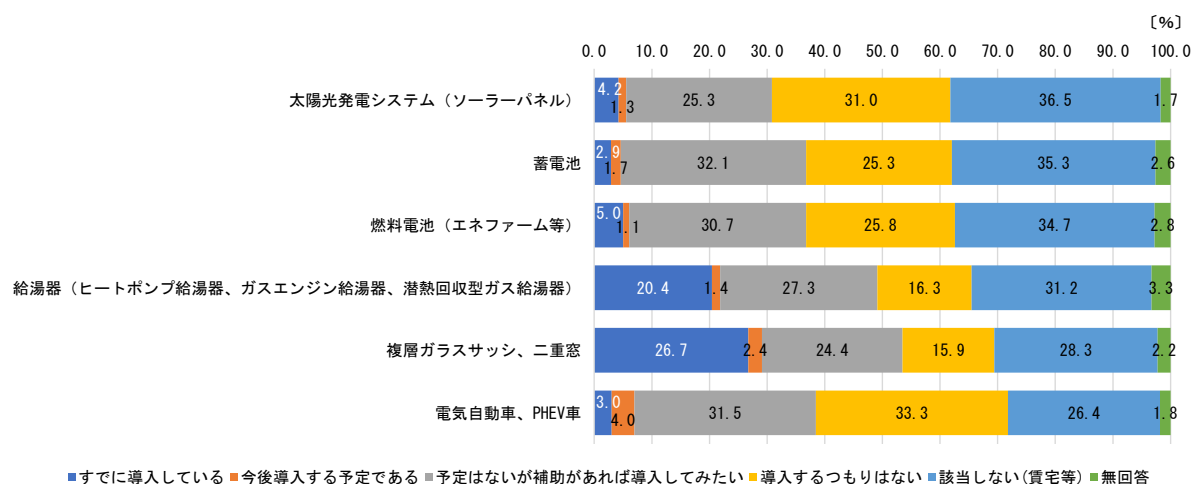
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	203	26.7%
② 今後導入する予定である	18	2.4%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	185	24.4%
④ 導入するつもりはない	121	15.9%
⑤ 該当しない(賃貸等)	215	28.3%
無回答	17	2.2%
合計	759	100.0%

「⑤該当しない(賃貸等)」が 28.3%と最も高く、次いで「①すでに導入している」が 26.7%となっています。

(6) 電気自動車、PHEV車

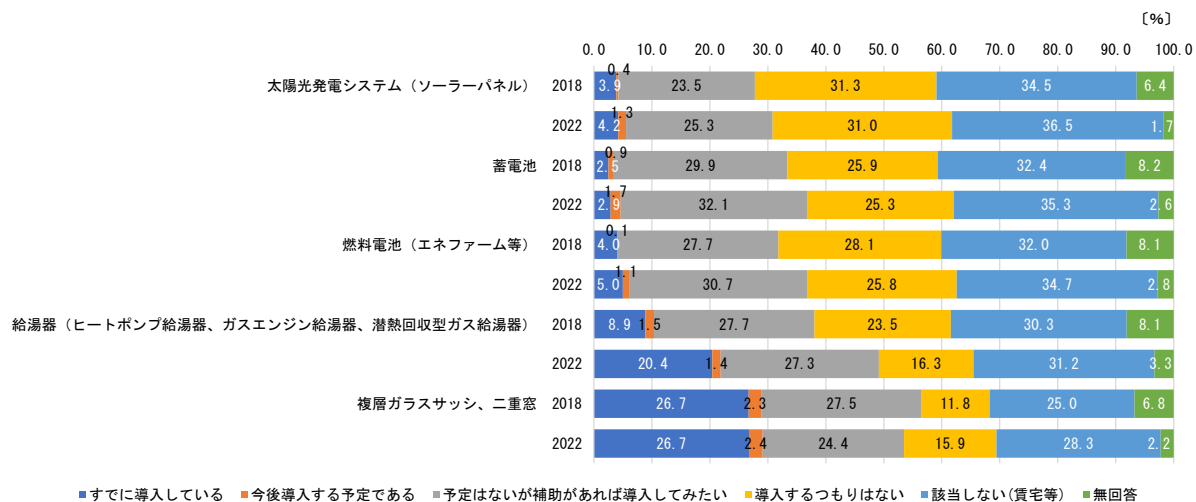
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	23	3.0%
② 今後導入する予定である	30	4.0%
③ 予定はないが補助があれば導入してみたい	239	31.5%
④ 導入するつもりはない	253	33.3%
⑤ 該当しない(賃宅等)	200	26.4%
無回答	14	1.8%
合計	759	100.0%

「④導入するつもりはない」が 33.3%と最も高く、次いで「③予定はないが補助があれば導入してみたい」が 31.5%となっています。



上記グラフは、0%を中心として、右側に「予定はないが補助があれば導入してみたい」「今後導入する予定である」「すでに導入している」、左側に「導入するつもりはない」と回答した人の割合をそれぞれ示しています。

「太陽光発電システム(ソーラーパネル)」の設問以外では「予定はないが補助があれば導入してみたい」「今後導入する予定である」と答えた人の割合の合計が「導入するつもりはない」と答えた人の割合より高いです。



2022年は2018年と比べて「給湯器」で、「すでに導入している」の割合が大きく高くなっています。

2. 中学生

2.1. あなたのことについて

住んでいる地域(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 田無町	70	4.9%
② 南町	72	5.0%
③ 西原町	42	2.9%
④ 緑町	15	1.0%
⑤ 谷戸町	64	4.5%
⑥ 北原町	25	1.7%
⑦ 向台町	129	9.0%
⑧ 芝久保町	170	11.9%
⑨ 新町	36	2.5%
⑩ 柳沢	58	4.1%
⑪ 東伏見	41	2.9%
⑫ 保谷町	67	4.7%
⑬ 富士町	43	3.0%
⑭ 中町	55	3.8%
⑮ 東町	50	3.5%
⑯ 泉町	69	4.8%
⑰ 住吉町	47	3.3%
⑱ ひばりが丘	75	5.2%
⑲ ひばりが丘北	23	1.6%
⑳ 栄町	40	2.8%
㉑ 北町	50	3.5%
㉒ 下保谷	49	3.4%
㉓ 市外	135	9.4%
無回答	5	0.3%
合計	1430	100.0%

2.2. あなたの環境についての考えや行動について

(1)環境問題について興味がありますか。あてはまるものに○を付けてください。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても興味がある	172	12.0%
② 少し興味がある	735	51.4%
③ あまり興味がない	403	28.2%
④ 全く興味がない	115	8.0%
無回答	5	0.3%
合計	1430	100.0%

「②少し興味がある」が51.4%と最も高く、次いで「③あまり興味がない」が28.2%となっています。

(2)地球温暖化を止めるために取り組むことについてどうお考えですか。あてはまるものに○を付けてください。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① ぜひ取り組みたい	226	15.8%
② 普通の生活が今より不自由にならないくらいで取り組みたい	1074	75.1%
③ できれば取り組みたくない	72	5.0%
④ 取り組むつもりはない	49	3.4%
無回答	9	0.6%
合計	1430	100.0%

「②普通の生活が今より不自由にならないくらいで取り組みたい」が75.1%と最も高く、次いで「①ぜひ取り組みたい」が15.8%となっています。

(3)環境を守るために、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(3つまで○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 自然体験活動	390	27.3%
② ビオトープづくり	437	30.6%
③ リサイクル活動	514	35.9%
④ 省エネルギーの活動	524	36.6%
⑤ 農業体験活動	232	16.2%
⑥ 環境保全活動	337	23.6%
⑦ 特に参加したいとは思わない	205	14.3%
⑧ その他	16	1.1%
合計	2655	

「④省エネルギーの活動」が36.6%と最も高く、次いで「③リサイクル活動」が35.9%となっています。

⑧その他の自由記載

- ・物を作って、それを周りの人に作ってもらい、生き物が住みやすくする。ポイ捨てをなくす(減らす)取組をしたい。
- ・地球温暖化を止めるための活動。
- ・環境問題を訴える作品を作り出す。

- ・生物(植物を除く)活動であれば参加したい。
- ・紙を作ってみたい。1枚の紙にどれだけの水が使われているのか、それによって紙がどんなに大切なのかを知ることができる。
- ・環境に優しいものを買う。
- ・生き物の保護活動
- ・殺処分される動物を完全になくす。
- ・海岸のゴミ拾い、募金
- ・ポイ捨てしない。
- ・エアコン
- ・生き物とのふれあいや、住んでいる場所について学ぶ。
- ・保護猫活動
- ・研究
- ・その他じゃないけど、ビオトープはもうやっている
- ・浜辺のゴミを拾う。川のゴミを拾う。

2.3. あなたの環境に関する学習の機会について

(1) 今まで、小学校や中学校での環境について学習する回数をどう思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 足りない	127	8.9%
② 少し足りない	909	63.6%
③ 少し多い	336	23.5%
④ なくして欲しい	44	3.1%
無回答	14	1.0%
合計	1430	100.0%

「②少し足りない」が63.6%と最も高く、次いで「③少し多い」が23.5%となっています。

(2) 環境についてのテーマで、興味があるのはどんな内容ですか。あてはまるものに○を付けてください。(すべてに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 地球温暖化について	785	54.9%
② エネルギーについて	342	23.9%
③ ごみについて	371	25.9%
④ 食品ロスについて	533	37.3%
⑤ 生き物について	840	58.7%
⑥ 植物やみどりについて	450	31.5%
⑦ 地域の環境について	253	17.7%
⑧ その他	29	2.0%
合計	3603	

「⑤生き物について」が58.7%と最も高く、次いで「①地球温暖化について」が54.9%となっています。

⑧その他の自由記載

- ・実現可能な範囲で人類が絶滅する環境はどんな環境か
- ・世界の現状について。

- ・自然に分解されるプラスチックや CO₂ を出さない火
- ・SDGS
- ・水について
- ・森林について
- ・プラゴミ
- ・CO₂ 削減の方法
- ・気候について
- ・水不足
- ・海
- ・地震について
- ・異常気象
- ・化学物質について
- ・酸性雨
- ・汚染(ガスや油など)
- ・川の汚染について
- ・砂漠化
- ・他の環境問題

2.4. 身近な地域の環境について

あなたがお住まいの(1でご回答いただいた)地域の環境について、あなたのお考えに最も近いものを0～5の中から○をつけてください。(それぞれ1つに○)

① 空気がきれいだ(車の排気ガス、においなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	67	4.7%
① そう思わない	120	8.4%
② ややそう思わない	162	11.3%
③ どちらともいえない	418	29.2%
④ ややそう思う	466	32.6%
⑤ そう思う	189	13.2%
無回答	8	0.6%
合計	1430	100.0%

「④ややそう思う」が 32.6%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が 29.2%となっています。

② まちが静かだ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	43	3.0%
② そう思わない	150	10.5%
③ ややそう思わない	222	15.5%
④ どちらともいえない	360	25.2%
⑤ ややそう思う	430	30.1%
⑥ そう思う	212	14.8%
無回答	13	0.9%
合計	1430	100.0%

「④ややそう思う」が 30.1%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が 25.2%となっています。

③ まちが清潔・きれいだ(ごみのポイ捨てなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	36	2.5%
② そう思わない	176	12.3%
③ ややそう思わない	375	26.2%
④ どちらともいえない	382	26.7%
⑤ ややそう思う	327	22.9%
⑥ そう思う	117	8.2%
無回答	17	1.2%
合計	1430	100.0%

「④どちらともいえない」が 26.7%と最も高く、次いで「②ややそう思わない」が 26.2%となっています。

④ 河川・水路等の水がきれいだ(水質、においなど)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	285	19.9%
② そう思わない	117	8.2%
③ ややそう思わない	191	13.4%
④ どちらともいえない	309	21.6%
⑤ ややそう思う	310	21.7%
⑥ そう思う	202	14.1%
無回答	16	1.1%
合計	1430	100.0%

「④ややそう思う」が 21.7%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が 21.6%となっています。

⑤ 街路樹、屋敷林、公園、農地などの緑が豊かだ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	43	3.0%
② そう思わない	51	3.6%
③ ややそう思わない	91	6.4%
④ どちらともいえない	246	17.2%
⑤ ややそう思う	507	35.5%
⑥ そう思う	474	33.1%
無回答	18	1.3%
合計	1430	100.0%

「④ややそう思う」が 35.5%と最も高く、次いで「⑥そう思う」が 33.1%となっています。

⑥ 野鳥、昆虫、魚などの生きものとふれあえる

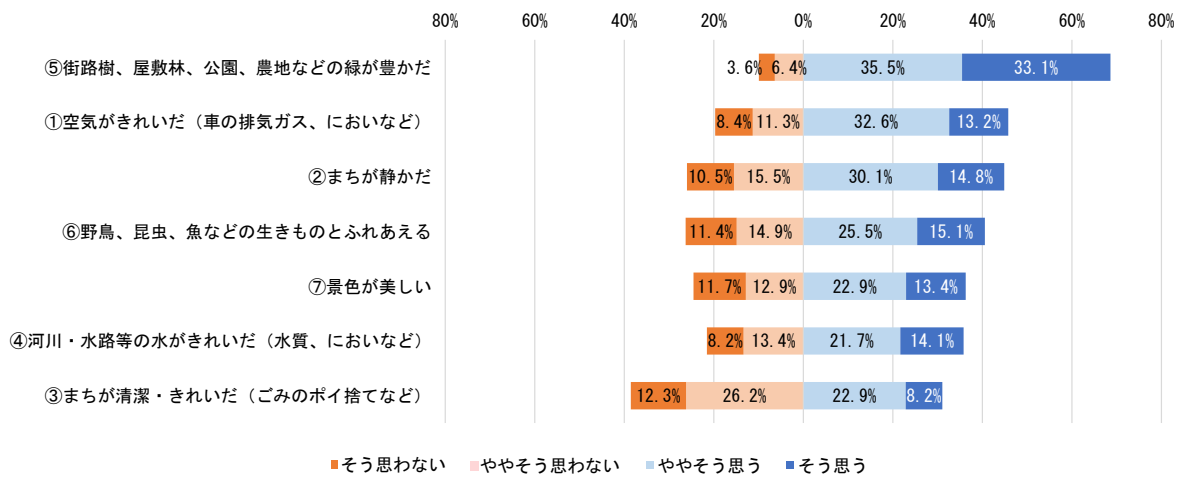
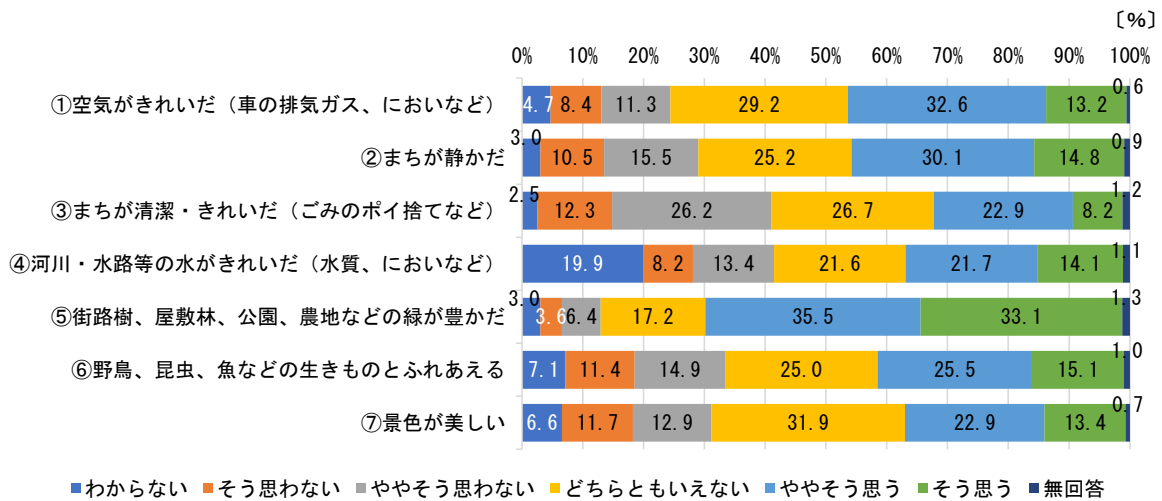
選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	102	7.1%
② そう思わない	163	11.4%
③ ややそう思わない	213	14.9%
④ どちらともいえない	358	25.0%
⑤ ややそう思う	364	25.5%
⑥ そう思う	216	15.1%
無回答	14	1.0%
合計	1430	100.0%

「⑤ややそう思う」が 25.5%と最も高く、次いで「④どちらともいえない」が 25.0%となっています。

⑦ 景色が美しい

選択肢	回答者数	割合 (%)
① わからない	94	6.6%
② そう思わない	167	11.7%
③ ややそう思わない	184	12.9%
④ どちらともいえない	456	31.9%
⑤ ややそう思う	328	22.9%
⑥ そう思う	191	13.4%
無回答	10	0.7%
合計	1430	100.0%

「④どちらともいえない」が 31.9%と最も高く、次いで「⑤ややそう思う」が 22.9%となっています。



上記グラフは、0%を中心として、右側に「ややそう思う」「そう思う」、左側に「そう思わない」「ややそう思わない」と回答した人の割合をそれぞれ示しています。

「まちが清潔・きれいだ(ごみのポイ捨てなど)」以外では「ややそう思う」「そう思う」と回答した人の割合の合計が「ややそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合の合計より多いです。

2.5. 環境を守るために思うことについて

(1)あなたが18歳になる5年後に、西東京市の環境がもっと良くなっているためには、今、あなたはどんなことをしなければいけないと思いますか。自由に意見を書いてください。(自由記述)

〈ボランティア〉

- ・ごみ拾い、落ち葉拾い、川の清掃などのボランティア活動に積極的に参加する。
- ・ボランティア活動を通じて地域の方と触れ合う。

〈食品ロスの削減〉

- ・西東京市産の野菜や果物を買う地産地消で食品ロスを防ぎ、この活動を通じて西東京市の有名な野菜や果物を知ることができる。
- ・食べ物は必要な分だけ買う。
- ・自分(又は家族)がどれだけ食べられるか把握して料理をする。
- ・賞味期限が近いものから食べる。

〈排出ガスの削減〉

- ・車やバイクを使わず、なるべく徒歩や自転車で移動する。

〈省エネ・節電・節水〉

- ・幼いころから意識して取組、習慣化させる。

〈マイボトル・マイバッグ〉

- ・マイバッグ、マイボトルを持ち歩く。

〈プラスチックごみの削減〉

- ・排気用のプラスチックをスーパーのリサイクルボックスに入れる。
- ・プラスチックごみなどのポイ捨てをしない。

- ・プラスチック製の商品をなるべく買わない。
- 〈緑の増加〉
- ・むやみに植物を傷つけない。
- ・木を植える活動をする。
- 〈ポイ捨て、ごみ削減〉
- ・ビニール袋を持ち歩き、マイバッグとして利用することで、ポイ捨てを防止する。
- ・子供のころからポイ捨てをしない意識を持つことで、習慣化させる。
- ・分別をしっかりと行う。
- ・ペットボトルごみを使って、工作をする。
- 〈リサイクル〉
- ・リサイクル、リユース、リデュースの3Rを意識して実践する。
- ・リサイクルボックスを買う。
- ・学校でも取り組み、幼いころから習慣化させる。
- 〈その他〉
- ・自分たちが市外ではなく、市内で働くことにより、市内の企業が活性化する。

(2)あなたが18歳になる5年後に、西東京市の環境がもっと良くなっているためには、今、大人の人たちがどんなことをしなければいけないと思いますか。自由に意見を書いてください。(自由記述)

- 〈ボランティア〉
- ・ボランティアの機会をさらに増やす(組合やボランティアを募集)。
- ・楽しく老若男女問わず参加できるボランティア活動をさらに増やす。例えば、一番多くごみを拾った人にプレゼントを渡す、拾ったゴミの数だけスーパーのポイントが貯まる、どこの場所や地域でゴミが多いかを記録するアプリを作る、などアイデアは沢山あるため何か実現させる。
- ・小中学校で定期的にボランティアを設ける。
- ・クリーン運動などのイベントがあれば、子どもたちは参加できるが、実際に自分たちだけで企画、実行は難しいため、大人が力を貸す。
- 〈食品ロスの削減〉
- ・コンビニの売り残り商品を捨てない工夫をする。
- 〈排出ガスの削減〉
- ・電気、水素自動車を製造・利用し、自動車からの排出ガスを抑制する。
- ・工場からの排出ガスを抑制する。
- 〈省エネ、節電、節水〉
- ・大人が見本を見せて、子どもに教育する。
- ・再生可能エネルギーを利用する。
- 〈マイボトル、マイバッグ〉
- ・西東京市民全員にエコバッグを供給する。
- ・レジ袋の価格をもう少し高くする。
- 〈タバコの規制〉
- ・歩きタバコ、たばこのポイ捨てが非常に多いため、少なくする。
- ・空気の汚染、副流煙の問題があるため、喫煙所で吸う。
- ・携帯用吸い殻捨てを持ち歩く。
- ・電子タバコに変える。
- 〈環境学習〉
- ・子どもたちが学校などで、SDGs や環境について学ぶ時間を増やす。
- ・授業で環境問題について考える時間を月1~2回設ける。
- ・小、中学校の社会科見学などで、西東京市の自然に触れる学習を増やす。
- ・幼稚園小中学校で農業体験を開く。
- ・今の幼稚園、小学、中学、高校生に、さらに現在の環境の現状を詳しく教える。幼稚園生のような小さい頃から、環境問題について教育を施せば、節電、食べ物を残さないといったことが当たり前になっていく。
- 〈緑を増やす〉
- ・緑のカーテンを設置する。
- ・公園に花や植物を植え、道路沿いに植林する。
- ・空き家を壊して緑を増やす
- ・西東京市民全員に家で育てられる植物を配る。
- ・自然を生かした観光地を作る。
- 〈プラスチックごみの削減〉
- ・プラスチック商品の流通を減らし、紙製品に変える。
- ・海岸でゴミ拾いをして、リサイクルする。
- ・紙製のストローを提供する店を増やしていく。
- 〈ポイ捨て、ごみ削減〉
- ・自販機周り、公園、海などにゴミ箱を多数設置する。
- ・ポイ捨て禁止のポスターや看板を設置する。
- ・ポイ捨ての罪を重くする。
- ・カラスに荒らされないような、ゴミ捨て場を増やす。
- ・石神井川のごみ拾いをする。
- ・ごみの見回り当番を作る。
- 〈その他〉
- ・魚が生きることができる環境にするために川の整備をしたり、川を汚さないように啓発する看板を立てたり、在来種の保護活動を行う。
- ・公園をもっと増やし、子供や地域の人が住みやすい街にする。
- ・魚の食べすぎや獲りすぎをしないようにする。

- ・ビオトープや池を増やし、駅前の池の水をきれいにする。
- ・東大農園をこれ以上減らさない。
- ・バイクや夜の大声による騒音問題を解決する。
- ・街に明かりを増やす。
- ・木造建築物のように自然の材料を使った、暖かみやぬくもりのある物を増やす。
- ・空き家問題を解決する。
- ・トイレなどの公共施設を頻繁に掃除し、壊れてないか点検する。
- ・バスや電車をもっと頻繁に走らせて、駅を増やす
- ・動物の巣を保護するなど、動物保護活動を行う。
- ・交通事故を少なくするために、信号のない横断歩道を減らし、カーブミラーを増やす。

西東京市の環境に関するアンケート調査
(市民アンケート)

西東京市の環境に関する アンケート調査にご協力ください

今回のアンケート調査は、西東京市第3次環境基本計画策定にあたり、広く市民の皆様のご意見をいただき、反映させるために行うものです。

ご多用のところ恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、原則として封筒の宛名となっている ご本人様がご記入ください。
(本人による回答が困難な場合は、家族による代筆も可能です。)

■本アンケート調査について

- 本アンケート調査は、18歳以上の市民の中から無作為に選んだ2,000人の方に行っています。
- このアンケートはWebで回答することもできます。スマートフォンなどでQRコードを読み取ってご回答ください。
- 調査結果は統計的に処理を行い、西東京市第3次環境基本計画の基礎資料とするもので、個人を特定することはありません。
- 本アンケート調査は、西東京市第3次環境基本計画の策定を行う目的以外に使用することはありません。

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（※切手は不要です）に入れ、

令和4年11月24日（木）までに

ご返送くださいますようお願い申し上げます。



Webによる回答はこちら
を読み取ってください。

【このアンケート調査に関するお問合せ先】

西東京市
みどり環境部 環境保全課 環境保全係

〒202-0011 西東京市泉町 3-12-35

エコプラザ西東京

電話：042-438-4042（直通）

E-mail：kankyous@city.nishitokyo.lg.jp

1. あなたご自身のことについておたずねします。

(1) あなたの性別はどれにあたりますか。 (1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

(2) あなたはどの年齢層に該当しますか。 (1つに○)

1. 18歳～20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳代以上

(3) あなたはどの職業に該当しますか。 (1つに○)

1. 自営業・事業主・農林業・商工業 2. 会社員・公務員・団体職員
3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 学生
6. 無職 7. その他 ()

(4) あなたはどの地域にお住まいですか。 (1つに○)

1. 田無町 2. 南町 3. 西原町 4. 緑町 5. 谷戸町
6. 北原町 7. 向台町 8. 芝久保町 9. 新町 10. 柳沢
11. 東伏見 12. 保谷町 13. 富士町 14. 中町 15. 東町
16. 泉町 17. 住吉町 18. ひばりが丘 19. ひばりが丘北
20. 栄町 21. 北町 22. 下保谷

(5) あなたの居住年数は次のどれにあたりますか。(旧田無市と旧保谷市も含めて) (1つに○)

1. 3年未満 2. 3年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満 5. 20年以上30年未満 6. 30年以上

(6) あなたの世帯構成は次のどれにあたりますか。 (1つに○)

1. 単身(ひとり暮らし) 2. 夫婦のみ 3. 親・子(二世帯)
4. 親・子・孫(三世帯) 5. その他 ()

2. 身近な地域の環境についておたずねします。

あなたがお住まいの（p.1（4）でご回答いただいた）地域の環境について、あなたのお考えに最も近いものを0～5の中から1つ選び、○をつけてください。（それぞれ1つに○）

項 目	5 そう思う	4 ややそう思う	3 どちらでもない	2 ややそう思わない	1 そう思わない	0 わからない
①空気がきれい（車の排気ガス、星空の見え方など）	5	4	3	2	1	0
②まちが静かだ	5	4	3	2	1	0
③まちが清潔・きれい（ごみの散乱、においなど）	5	4	3	2	1	0
④河川・水路等の水がきれい（水質、においなど）	5	4	3	2	1	0
⑤水や水辺と親しみやすい（河川や湧水など）	5	4	3	2	1	0
⑥街路樹、屋敷林、生け垣、公園緑地等の緑が豊かだ	5	4	3	2	1	0
⑦農地や土と親しみやすい	5	4	3	2	1	0
⑧野鳥、昆虫、魚等の生きものと親しみやすい	5	4	3	2	1	0
⑨公共の広場、公園が充実している	5	4	3	2	1	0
⑩自然の眺めやまちなみが美しい	5	4	3	2	1	0
⑪環境の状況や施策に関する市からの情報を目にする機会がある	5	4	3	2	1	0

3. あなたの日ごろの行動についておたずねします。

環境保全のため、あなたが日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。それぞれの行動欄について、あてはまるものを1～5の中から1つ選び、○をつけてください。

(それぞれ1つに○)

行 動		常に 取り組ん でいる	時々 取り組 んでい る	今後 取り組 みたい	取り組 むつも りはない	該当 しない
①日常での 省エネ	ア 冷暖房の使用は設定温度や運転時間に配慮している	5	4	3	2	1
	イ 夏の日差しをさえぎるための緑のカーテンやすだれを設置している	5	4	3	2	1
	ウ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている	5	4	3	2	1
②移動手段 について	ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり、自転車や公共交通機関を利用したりしている	5	4	3	2	1
	イ 車や自転車のシェアリングサービス（共同利用サービス）を利用している	5	4	3	2	1
③環境に配 慮した商 品の選択 について	ア 家電を購入する際、省エネ性能を重視している	5	4	3	2	1
	イ 市内産農作物等を購入している	5	4	3	2	1
	ウ リサイクル商品や詰替え商品等、環境負荷が少ない商品を購入している	5	4	3	2	1
④ごみの減 量・リサ イクル	ア マイボトル、マイバッグを活用している	5	4	3	2	1
	イ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している	5	4	3	2	1
	ウ 生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化している	5	4	3	2	1
	エ 食材は必要な分だけ購入し、食べ残し、未使用の食品の廃棄など食品ロスの発生を抑えるよう心がけている	5	4	3	2	1
⑤自然環境 ・生物多 様性の配 慮	ア 自宅で植物を育てている（庭木・生垣・プランターなど）	5	4	3	2	1
	イ 公園や緑地、水辺などで自然にふれあう	5	4	3	2	1
⑥水環境へ の配慮	ア 水道を使う際には、節水を心がけている	5	4	3	2	1
	イ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている	5	4	3	2	1

4. 西東京市の環境保全の取組についておたずねします

西東京市の環境を保全するために、以下の分野で市はどのようなことに優先して取り組むべきと思いますか。(いくつでも○)

(1) みどりの保全・生物多様性

1. 公園、学校、公共施設、道路の街路樹のみどりを増やす取組
2. 社寺林、屋敷林のみどりや農地を守る取組
3. 緑被率向上のための市民、事業所への支援
4. 生き物が棲みやすい環境の創出、生物多様性の保全
5. みどりを守り育てる人材や市民活動の育成・支援

(2) 資源の有効活用、ごみの削減

1. 不用品については、フリーマーケット、リサイクルショップの活用等による再利用、資源回収等による資源化を進める
2. 家庭や事業所から排出されるごみの削減を進める
3. ごみ排出ルール徹底について、市民へ啓発する等、効率的なごみ処理を進める

(3) 安心・安全な生活環境の確保について

1. 大気や水、騒音、土壌等についての継続的な調査と、その結果についての情報を公開する
2. 大気や水を守るため、保全に向けた市民や事業者への呼びかけや汚染対策を実施する
3. 幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備を行い、安全・安心な交通環境を確保する
4. 良好なまちなみ景観の保全、ポイ捨てや路上喫煙防止等、市内美化を実施する

(4) 環境意識、協働の仕組みづくり

1. 環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る
2. 市内の環境の現状や様々な環境問題について、情報を発信する
3. 環境に関する市民活動などへの助成を行う
4. 環境に関する全市的なキャンペーンを行う

5. 環境保全活動への参加についておたずねします

市内で行われている環境保全活動^{※1}に参加したことはありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 今後参加したい |
| 3. 今後も参加する予定がない | 4. わからない |

※1：環境保全活動

地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境保全を目的とした活動のこと
(例：環境フェスティバル、自然観察会、環境美化キャンペーン(ごみ拾い散策等))

6. 環境用語についておたずねします。

西東京市は、令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、地域全体で脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指しています。あなたは、「ゼロカーボン^{※2}」という言葉を知っていますか。

(1つに○)

1. よく知っている（意味やどんなことに取り組むかなど）
2. 詳しくは知らないが、だいたいの意味はわかる
3. 意味は知らないが、聞いたことがある
4. 知らない

※2：ゼロカーボン

日常生活などで人が排出する二酸化炭素の量と森林等によって吸収される二酸化炭素の量が同じになり、実質的に二酸化炭素の量が増えない状況のこと

7. 「地球温暖化対策」に対するあなたのお考えについておたずねします。

近年、気候変動による干ばつ、台風の強大化、海面上昇などが問題とされており、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加による地球温暖化が原因であると言われています。西東京市では、この地球温暖化を防止するため、脱炭素社会の実現を目指して、現在、取組みを進めています。

(1) あなたがイメージする 2050 年脱炭素社会を実現した西東京市について、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 電力のすべてが再生可能エネルギー^{※3}由来の電力で賄われている
2. 走行する自動車は、すべて電気自動車や燃料電池自動車である
3. ありとあらゆる場所に電気自動車や燃料電池自動車の充電スポットがある
4. 移動は、自動車よりも自転車が優先的に利用されている
5. すべての住宅やビルでエネルギーの高効率化がされている
6. いま以上に花や樹木といったみどりがあふれている
7. 農地が保全され、市内農産物が十分に流通している
8. 食品ロスの削減や4R^{※4}が徹底され、ごみの減量が進んでいる
9. その他 ()

※3：再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス等、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと

※4：4R

「Reduce（リデュース：減量する）」「Reuse（リユース：再使用する）」「Recycle（リサイクル：再資源化する）」「Refuse（リフューズ：断る・受け取らない）」の総称のこと

(2) (1) で答えたイメージの西東京市を実現するために、あなたが取り組みたいと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。

(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する
2. 電力会社から再生可能エネルギー由来の電力を購入する
3. 電気自動車や燃料電池自動車^{※5}を使用する
4. 自宅をZEH^{※6}化する
5. みどりの保全・緑化を推進する
6. 市内農産物を積極的に購入する(地産地消^{※7})
7. リユース品やリサイクル品を使用する
8. ワンウェイプラスチック^{※8}製品を使用・提供しない
9. その他()

※5：燃料電池自動車

水素と酸素の化学反応によって電気を発生させる燃料電池を搭載し、水素をエネルギー源として走る車のこと

※6：ZEH(ゼッチ：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

住宅の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅のこと

※7：地産地消

ある地域で生産された物が同じ地域内で消費されることをいい、輸送にかかるエネルギーが削減されることで二酸化炭素の排出量が減ります。

※8：ワンウェイプラスチック

コンビニエンスストアで提供されるプラスチック製スプーンやフォークなどの一度だけ使われて廃棄されるプラスチック製品のこと

(3) (1) で答えたイメージの西東京市を実現するために、市が取り組むべきと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。

(あてはまるもの全てに○)

1. 公共施設に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する
2. 市が使う自動車(庁用車)を電気自動車又は燃料電池自動車に変える
3. 電気自動車や燃料電池自動車の充電スポットを整備する
4. 公共施設をZEB^{※9}化する
5. 農地を保全し、市内農産物を活用する施策を展開する
6. リユース品やリサイクル品を使用する
7. ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない
8. その他()

※9：ZEB(ゼブ：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

快適な室内環境を実現しながら、高断熱化、高効率設備により使うエネルギーを減らし、太陽光発電などにより使う分のエネルギーを創ることでエネルギー消費を正味(ネット)でゼロにすることを目指した建物のこと

(4) (1) で答えたイメージの西東京市を実現するために、**事業者**が取り組むべきと思うことについて、あてはまるものに○を付けてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 事業所建物に太陽光パネルなどを設置して、再生可能エネルギー由来の電力を発電する
2. 事業者が使う車両を電気自動車又は燃料電池自動車に変える
3. 事業所建物を ZEB 化する
4. 市内農産物を積極的に活用する
5. リユース品やリサイクル品を使用する
6. ワンウェイプラスチック製品を使用・提供しない
7. その他 ()

8. あなたのお住まいについておたずねします。

あなたのご自宅について、今後、次のような環境に配慮した設備を導入する予定はありますか。それぞれの設備について、ご自宅の状況に最もあてはまるものを 1～5 から 1 つ選び、○をつけてください。(それぞれ 1 つに○)

(1) 太陽光発電システム (ソーラーパネル)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

(2) 蓄電池^{※10}

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

※10：蓄電池

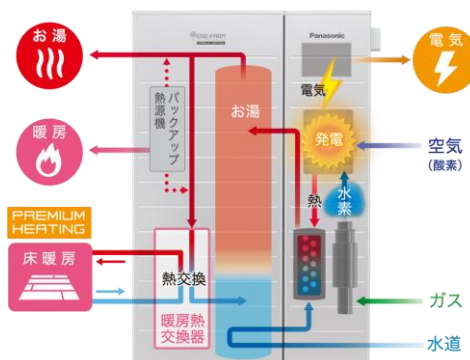
太陽光発電等で発電した電力や割安な夜間電力をためて利用する電池のこと

(3) 燃料電池^{※11} (エネファーム等)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

※11：燃料電池

ガスや灯油から取り出した水素で電気と熱を作り、熱は給湯等に利用することができます。



出典：パナソニック
ホームページ

(4) 給湯器 (ヒートポンプ給湯器^{※12}、ガスエンジン給湯器^{※13}、潜熱回収型ガス給湯器^{※14})

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

※12: ヒートポンプ給湯器 (エコキュート等)

大気中の熱を取り込んでお湯を沸かす、熱効率の高い省エネルギー機器です。夜中の割安な電気を利用することで、経済性と環境性の両立を図ることができます。

※13: ガスエンジン給湯器 (エコウィル等)

ガスを燃料として電気をつくり、その時の排熱でお湯をつくって給湯や暖房を行うことができます。ひとつのエネルギーで電気とお湯を同時につくりだし、エネルギー消費を抑える家庭用コージェネレーションシステムです。

※14: 潜熱回収型ガス給湯器 (エコジョーズ等)

ガスでお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱ロスを抑え、エネルギー効率の高い給湯器です。給湯時の熱効率を従来型給湯器の約80%から約95%までアップします。

(5) 複層ガラスサッシ、二重窓

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

(6) 電気自動車、PHEV車^{※15}

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. すでに導入している | 2. 今後導入する予定である |
| 3. 予定はないが補助があれば導入してみたい | 4. 導入するつもりはない |
| 5. 該当しない(賃宅等) | |

※15: PHEV車 (プラグインハイブリッド車)

コンセントから差込プラグを用いて、外部電源から直接バッテリーに充電することができるハイブリッド車のことです。

9. その他

地球環境や西東京市の環境の現状等についてあなたが感じていること、また地球温暖化対策の取組や制度等、アイデアや市へのご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

西東京市の環境に関するアンケート調査
(中学生アンケート)

西東京市の環境に関するアンケート

市役所では、西東京市の環境を守り、未来に伝えるために「西東京市環境基本計画」を作っています。このアンケートを通じてみなさんの意見を計画にいかす予定です。

このため、みなさんが思ったことや感じたことを素直にご回答ください。

1 あなたのことについて

住んでいる地域（1つに○）

- | | | | | |
|---------|---------|-----------|--------------------------------|--------|
| 1. 田無町 | 2. 南町 | 3. 西原町 | 4. 緑町 | 5. 谷戸町 |
| 6. 北原町 | 7. 向台町 | 8. 芝久保町 | 9. 新町 | 10. 柳沢 |
| 11. 東伏見 | 12. 保谷町 | 13. 富士町 | 14. 中町 | 15. 東町 |
| 16. 泉町 | 17. 住吉町 | 18. ひばりが丘 | 19. ひばりが丘北 | |
| 20. 栄町 | 21. 北町 | 22. 下保谷 | 23. 市外（ ） | |

2 あなたの環境についての考えや行動について

（1）環境問題について興味がありますか。あてはまるものに○を付けてください（1つに○）

- | |
|-------------|
| 1. とても興味がある |
| 2. 少し興味がある |
| 3. あまり興味がない |
| 4. 全く興味がない |

(2) 地球温暖化を止めるために取り組むことについてどうお考えですか。あてはまるものに○を付けてください。(1つに○)

1. ぜひ取り組みたい
2. ふだんの生活が今より不自由にならないくらいで取り組みたい
3. できれば取り組みたくない
4. 取り組むつもりはない

(3) 環境を守るために、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(3つまで○)

1. 自然体験活動
2. ビオトープづくり (野生の生きものが住みやすい環境をつくる活動)
3. リサイクル活動 (学校や家からでるごみをあつめてリサイクルする活動)
4. 省エネルギーの活動 (学校や家で電気や水を節約する活動)
5. 農業体験活動
6. 環境保全活動 (道路や公園などのごみ拾い、草刈り など)
7. 特に参加したいとは思わない
8. その他(下の〔 〕内に具体的にお書きください)

〔 〕

3 あなたの環境に関する学習の機会についておたずねします。

(1) 今まで、小学校や中学校での環境について学習する回数をどう思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(1つに○)

1. 足りない(もっと学びたい)
2. 少し足りない(もう少し学びたい)
3. 少し多い(もう少し減らしてほしい)
4. なくして欲しい(学びたくない)

(2) 環境についてのテーマで、興味があるのはどんな内容ですか。あてはまるものに○を付けてください。(すべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 地球温暖化について | 2. エネルギーについて |
| 3. ごみについて | 4. 食品ロスについて |
| 5. 生き物について | 6. 植物やみどりについて |
| 7. 地域の環境について | |
| 8. その他 () | |

4 身近な地域の環境について

あなたがお住まいの (p.1_1 でご回答いただいた) 地域の環境について、あなたのお考えに最も近いものを0～5の中から○をつけてください。(それぞれ1つに○)

項 目	5 そう思う	4 ややそう思う	3 どちらともいえない	2 ややそう思わない	1 そう思わない	0 わからない
①空気がきれいだ (車の排気ガス、においなど)	5	4	3	2	1	0
②まちが静かだ	5	4	3	2	1	0
③まちが清潔・きれいだ (ごみのポイ捨てなど)	5	4	3	2	1	0
④河川・水路等の水がきれいだ (水質、においなど)	5	4	3	2	1	0
⑤街路樹、屋敷林、公園、農地などの緑が豊かだ	5	4	3	2	1	0
⑥野鳥、昆虫、魚などの生きものとふれあえる	5	4	3	2	1	0
⑦景色が美しい	5	4	3	2	1	0

5 環境を守るために思うことについて

(1) あなたが18歳になる5年後に、西東京市の環境がもっと良くなっているためには、今、あなたはどんなことをしなければいけないと思いますか。自由に意見を書いてください。(自由記述)

(2) あなたが18歳になる5年後に、西東京市の環境がもっと良くなっているためには、今、大人の人たちがどんなことをしなければいけないと思いますか。自由に意見を書いてください。(自由記述)

※アンケートは以上になります。ご協力いただきありがとうございました。